



このみき
河野美希、四十二歳。一人息子の母、兼臨時教師。

女教師は俺の母親 3

The female teacher is my mother.

フルカラーコミック



お前ばっかイってん
じゃねえよ、ほら

お願い、もう……

じゃあ次、騎乗位な
乗ってこい美希……

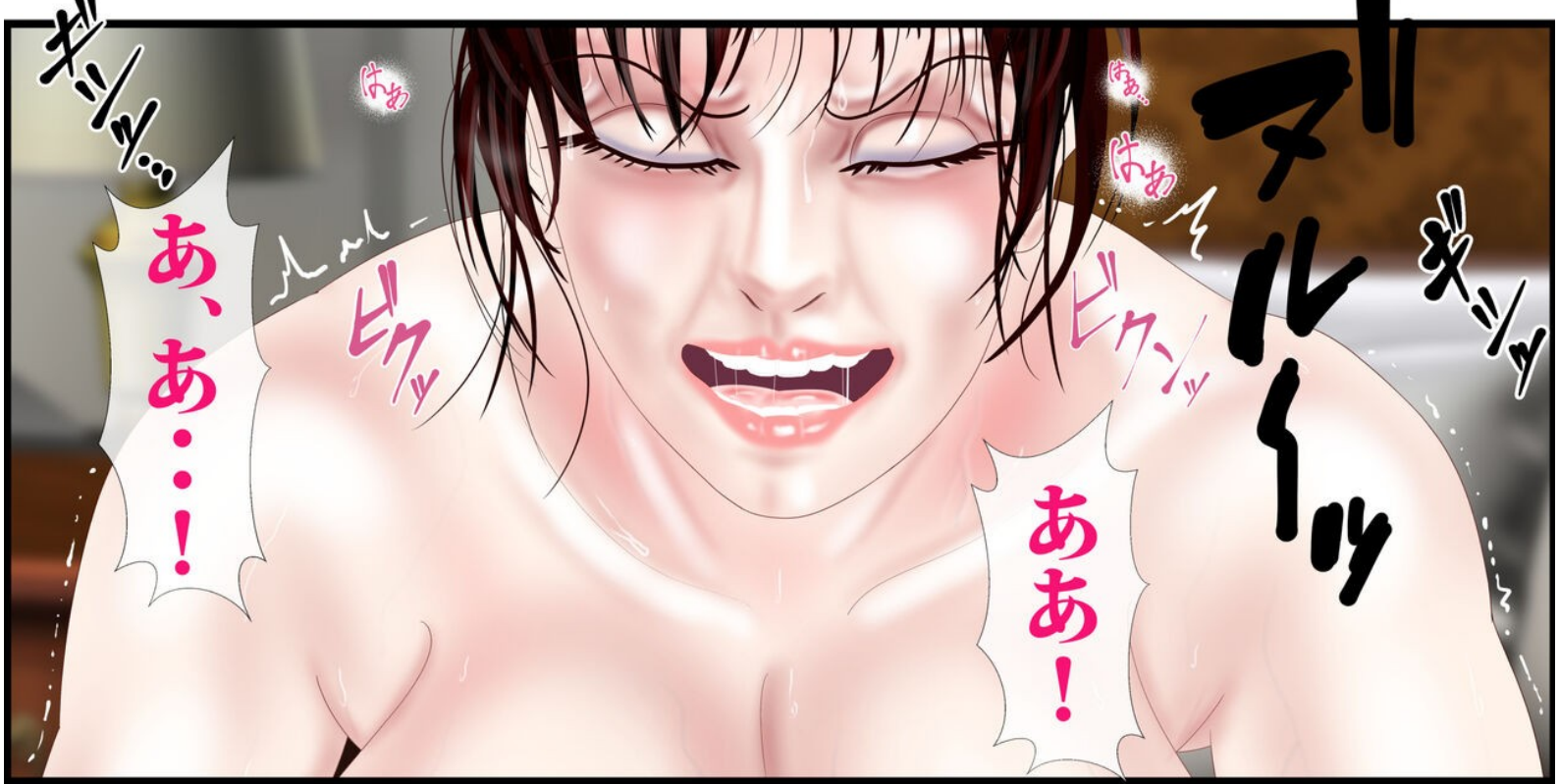


っは！

ぬぶっ



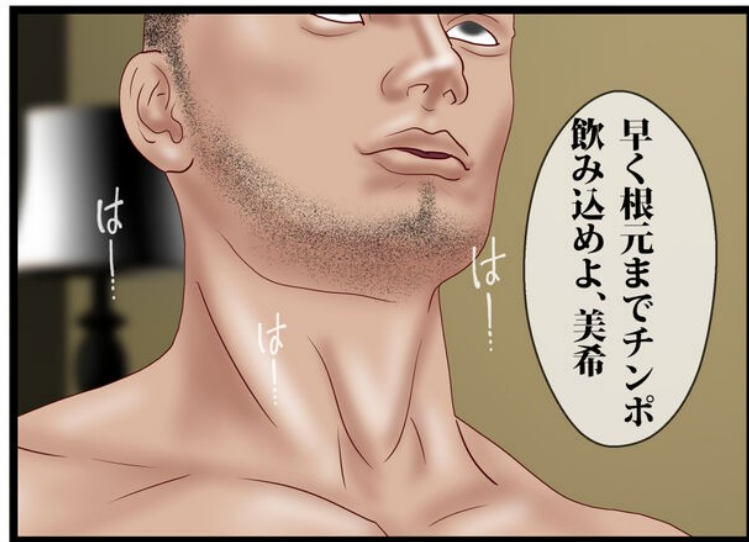
早くまたが跨れや、美希



あ、あ……！

ああ！

アッ
ル
ッ





だめ...!!

ほら、イケよ美希ッ

美希ッ...おらッ!

ああああッ!

っはあ!

はあはあ

はあッ

はあ

パッ

パッ

キッ...

キッ...

キッ...

キッ...

何言ってやがる
まだ夜の8時だぜ

ダメよ、余り遅いと
息子が…怪しむわ

この事は…誰にも
知られたく、ないの…

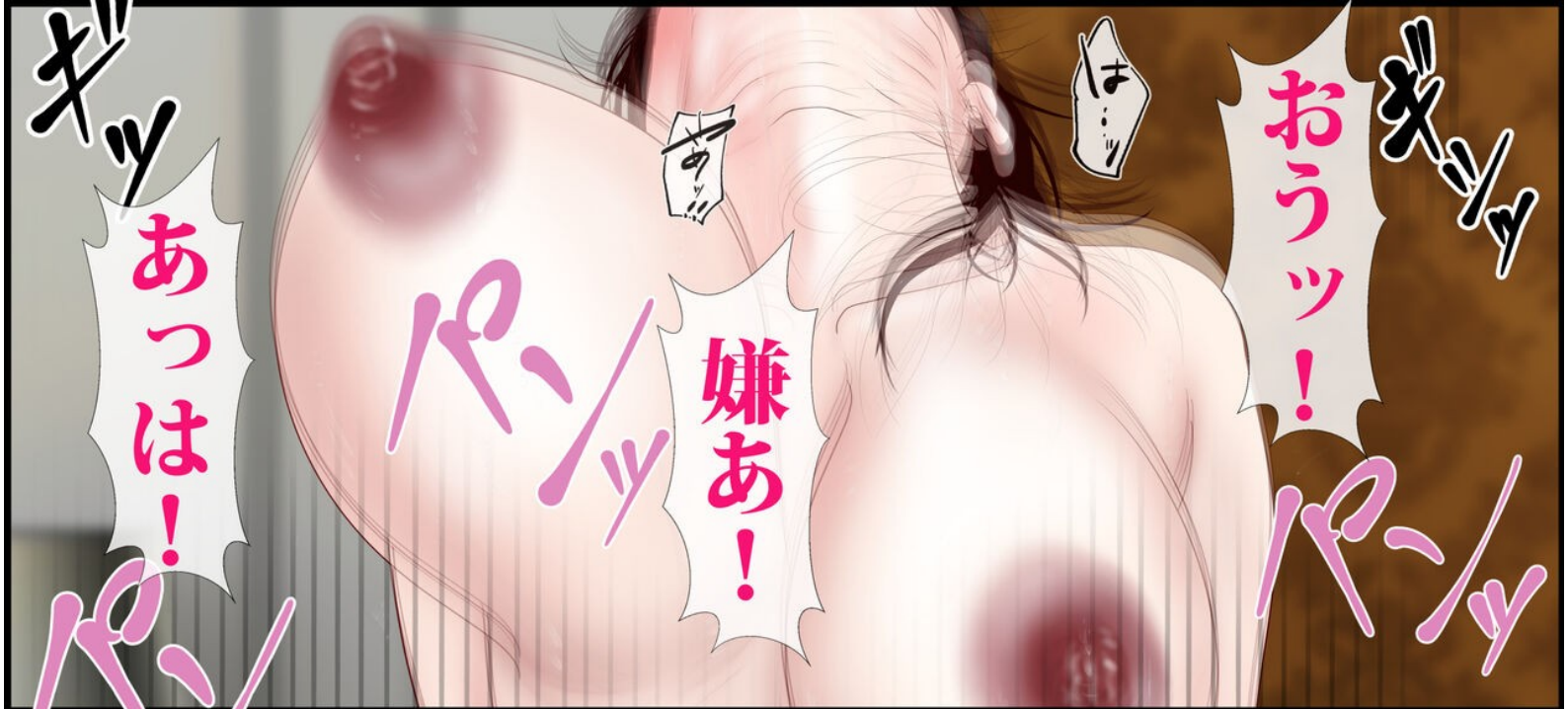
オイオイ、先生…
立場分かってんの？

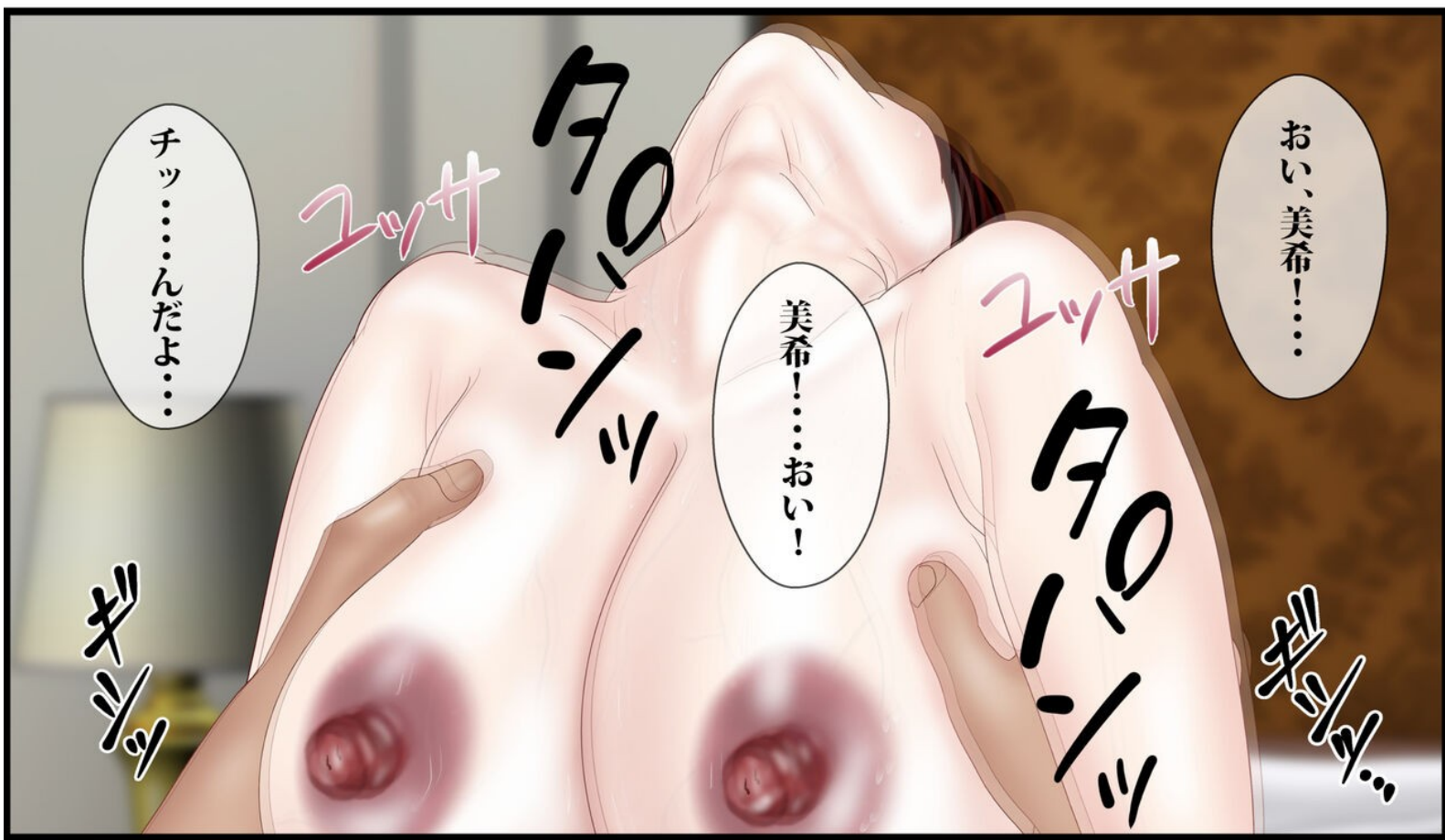
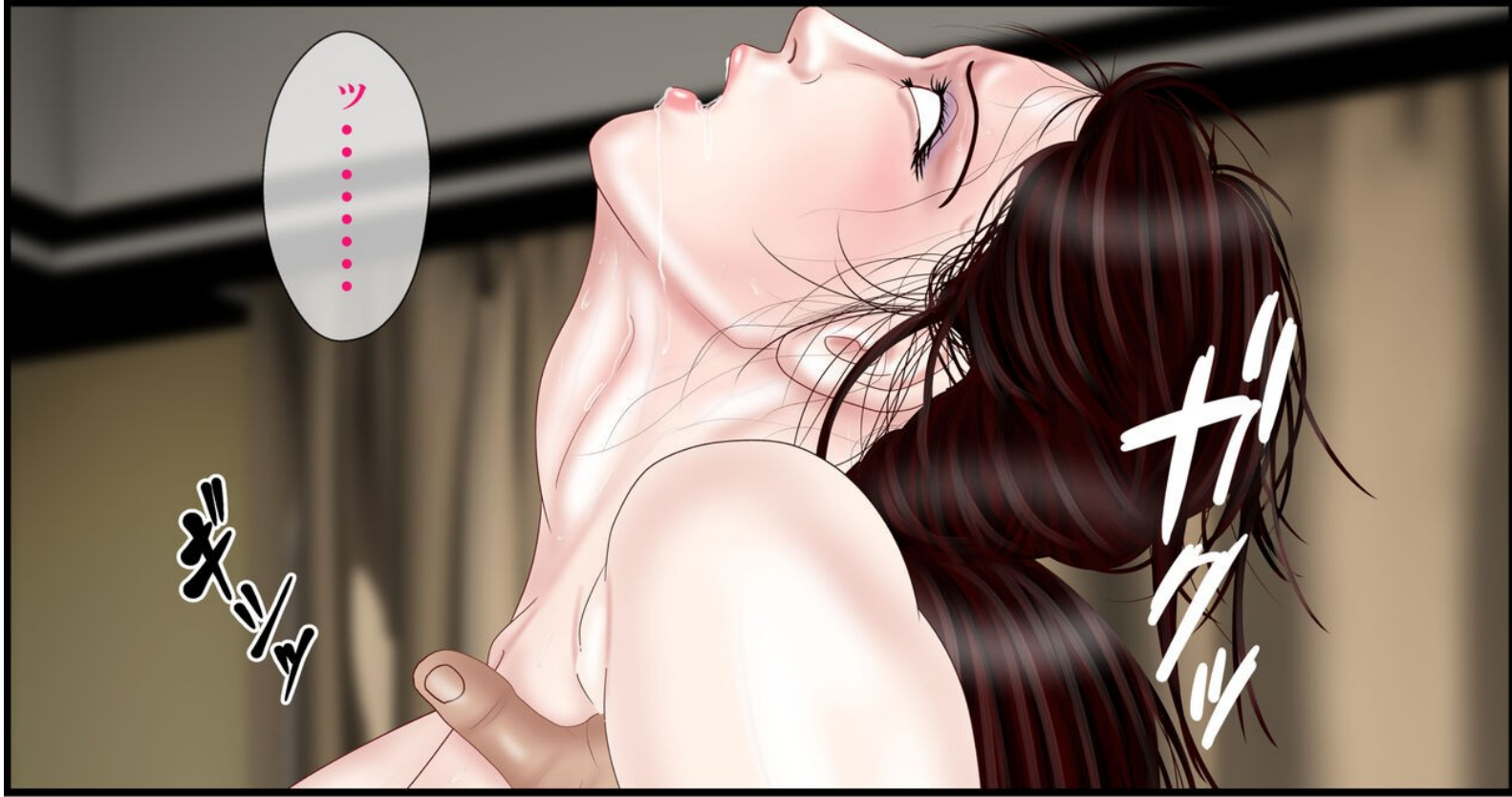


はっ...

はっ...









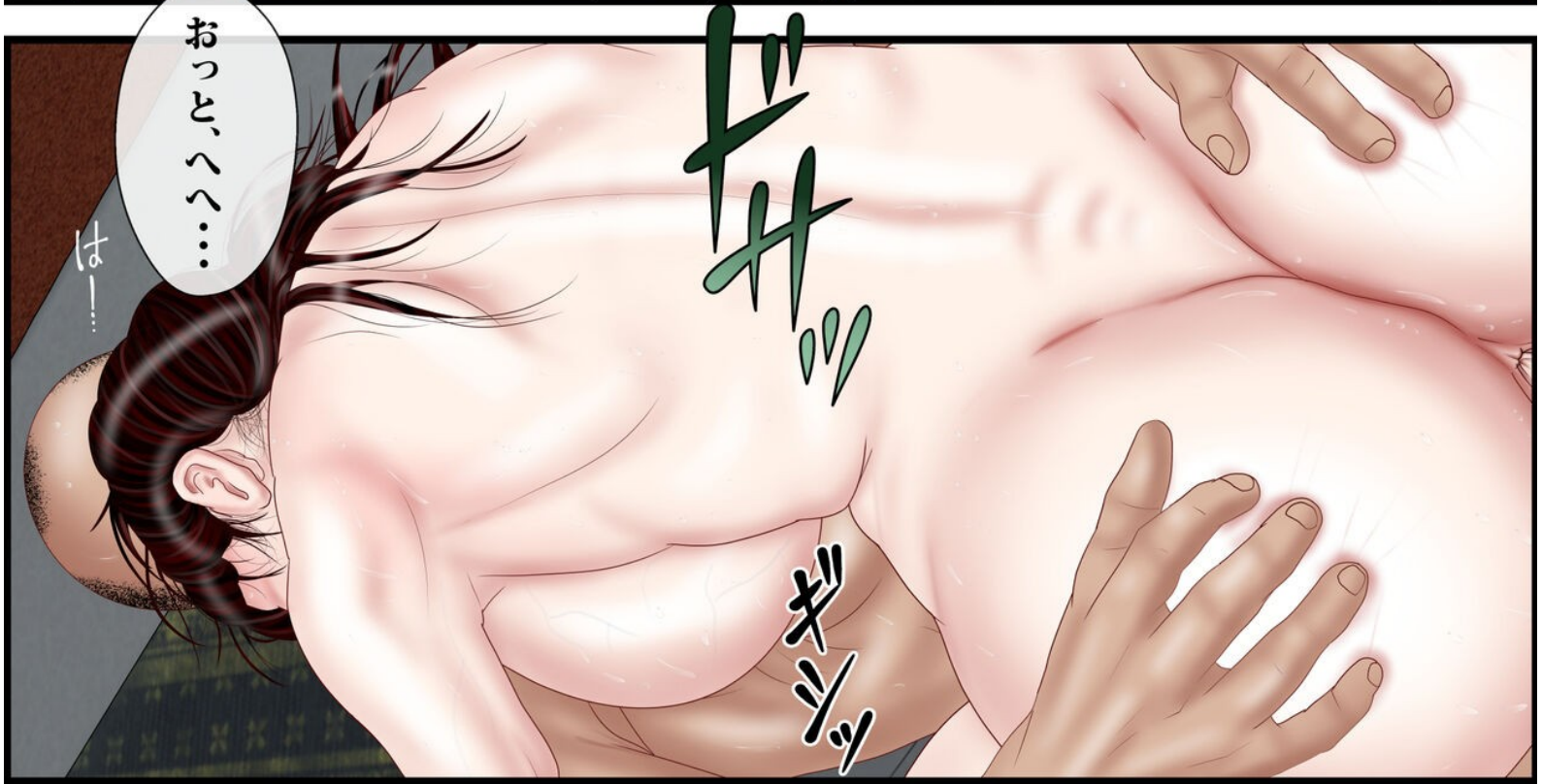
この淫乱女…
失神しやがった

俺あまだイって
ねえのによお…

オハハハ…

は…

は…



おっど〜ん〜ん…

オハハハ

オハハハ

は…



しかしここまで効くとはねえ…

あのヤク、やつぱやべえわ…

は…
は…
は…



オラよっ…と!

生ダッチワイフかへへ…くそエロ

ゴッ

ゴッ



デカケツ…上げる、ほらッ

ズッ

ズッ

ズッ

へへ…これで美希も
俺から離れられねえ

ヤクと太えチンポで
淫乱の血が覚醒よ…

お前はもう誰にも
渡さねえぞ、美希…

は…

は…

は…

は…

オシツ

オシツ





美希のおマンコ
あったけえ…

おお、やべえッ…!

ぬるっ

ぱちゅっ

ザッ

ザッ

ザッ

ザッ



美希ッ…美希!
このケツ!ケツ!



ダッチワイフ美希
結構、良いかもなッ

この俺を、本気に
させやがってッ！

お前は、ぜってー
俺の、女だからな！

このケツも、乳も
澄ました顔もよ！

全部、俺の所有物
なんだよ、美希！

パァッ

パァッ

パァッ
クゥゥ

パァッ
クゥゥ...

クゥゥ

クゥゥ

は...

は...

は...

は...

は...

は...



ここのみき
河野美希ッ！

お前は俺の女だ！

誰にも渡さねえ！

妊娠しちまえ！

出すぞ美希！

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ





ヒンッヒンッヒンッ...

おっ...

美希ッ...おとおッ!

おっ...

ヒンッ

ヒンッ

ヒンッ

ヒンッ

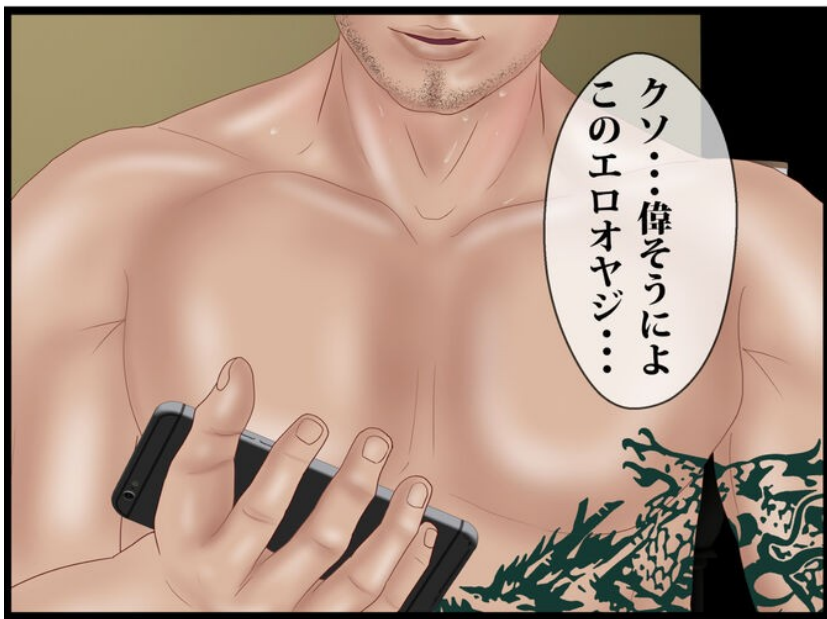


…あざっす…
じゃあまた伺います



ああ…注射スか？
Sでしょ、犯る時ね

…はい、あのヤケ
最高でまた欲しくて

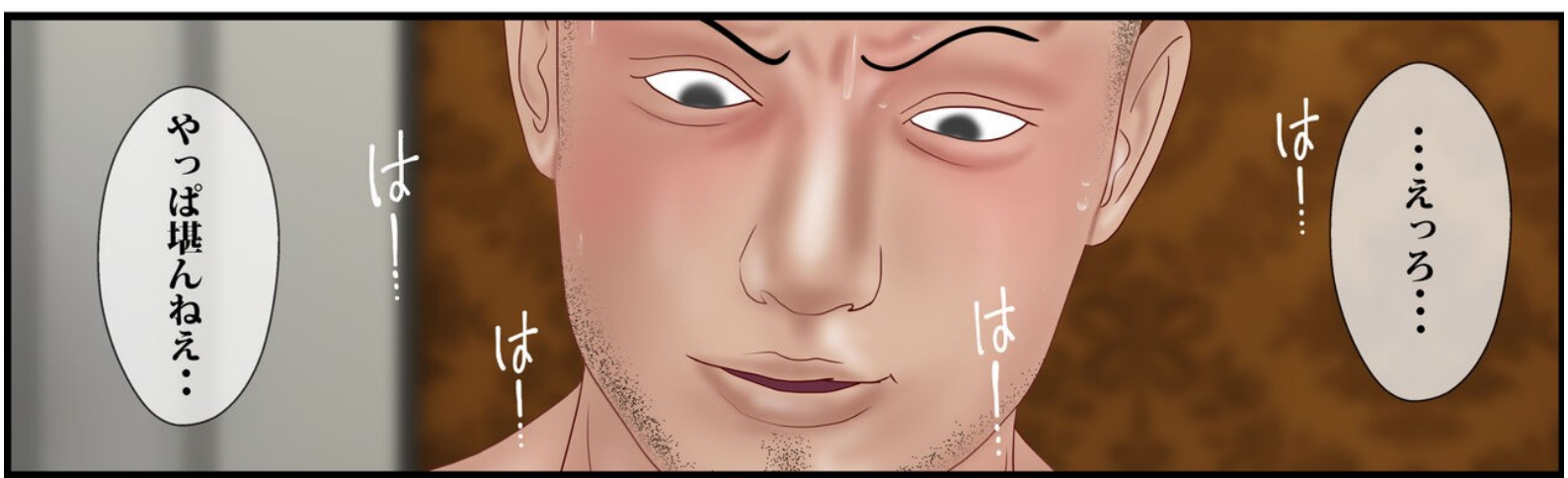


クソ…偉そうによ
このエロオヤジ…

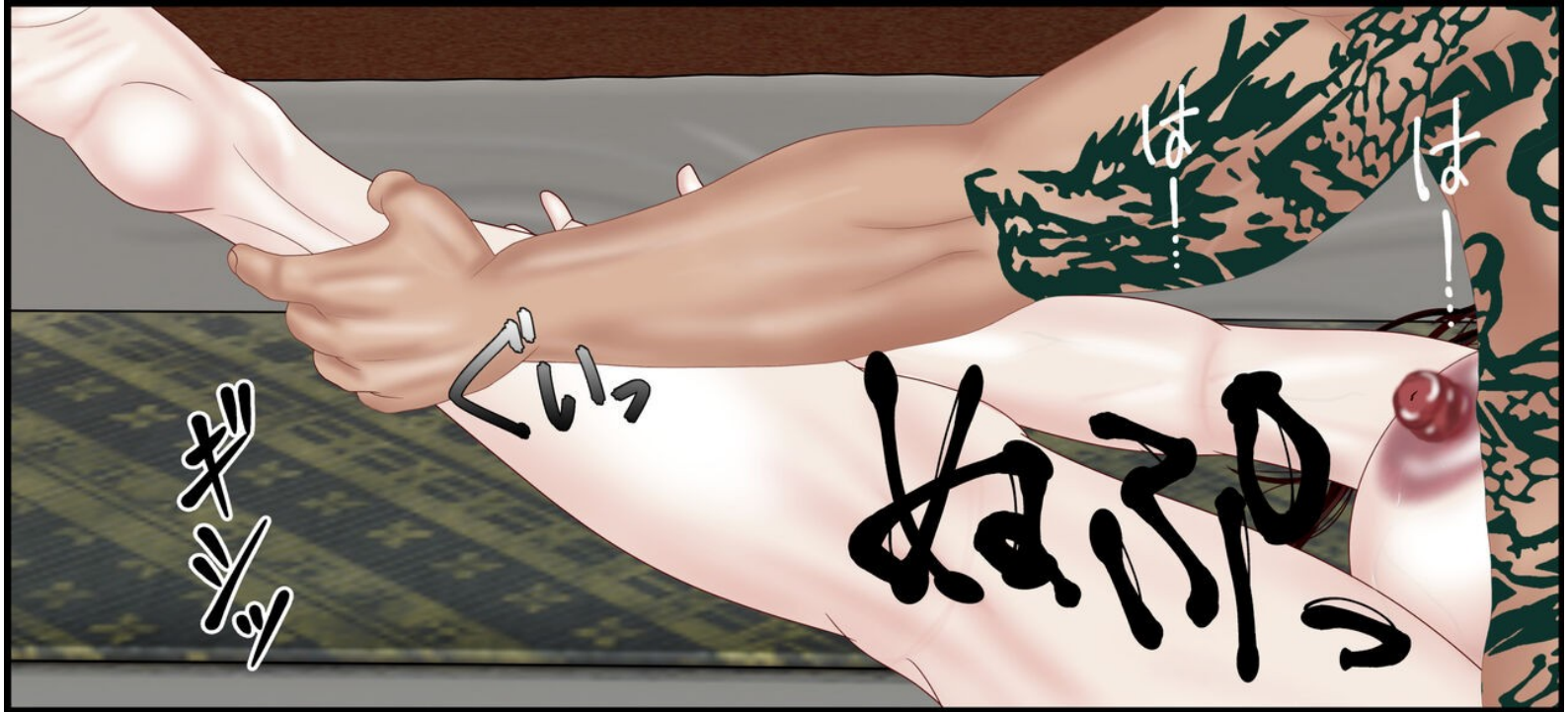


今日の美希は俺の
オナホかよ、ったく

まだ覚めねえのか
ヤベえなこれ…

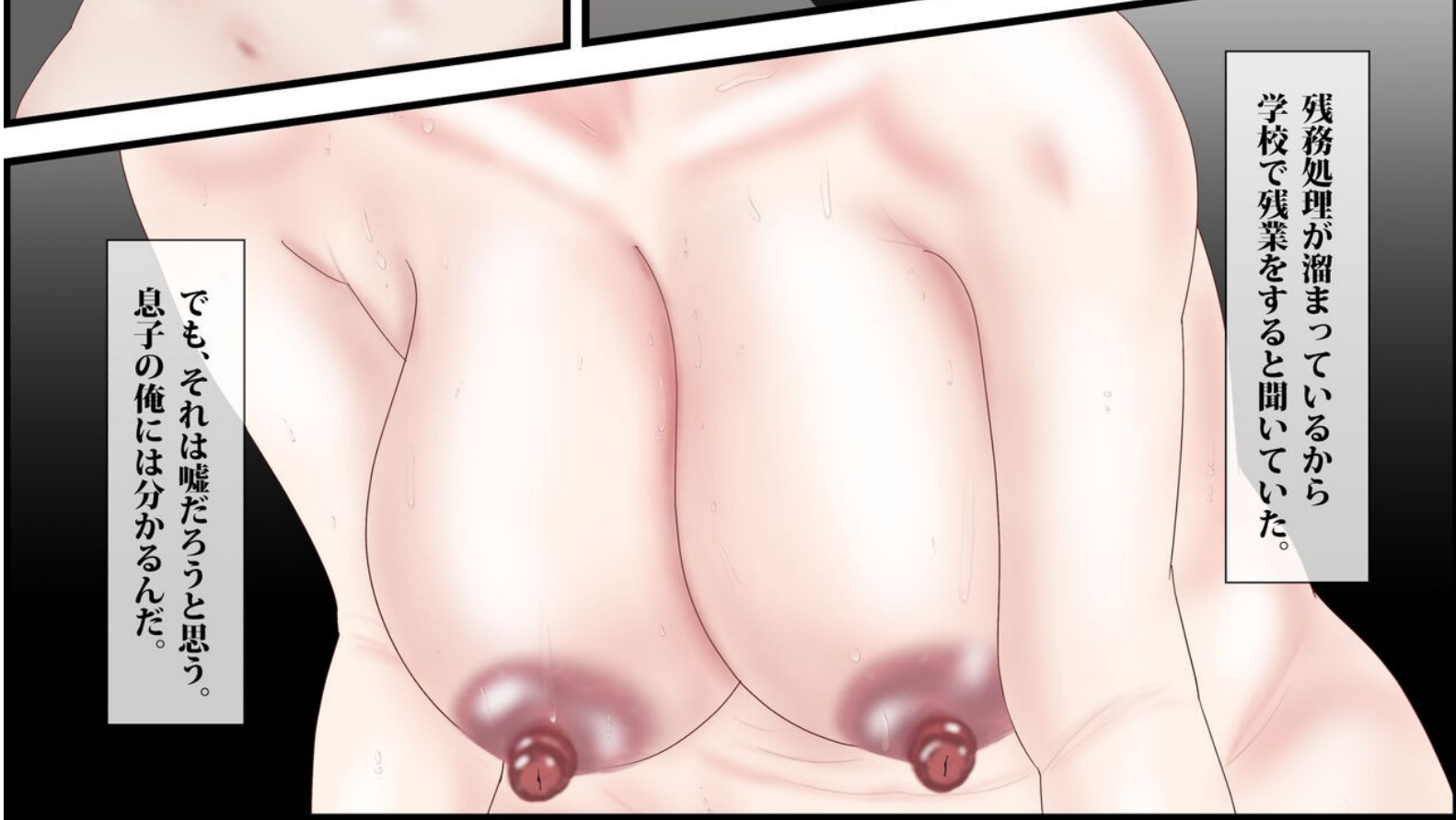
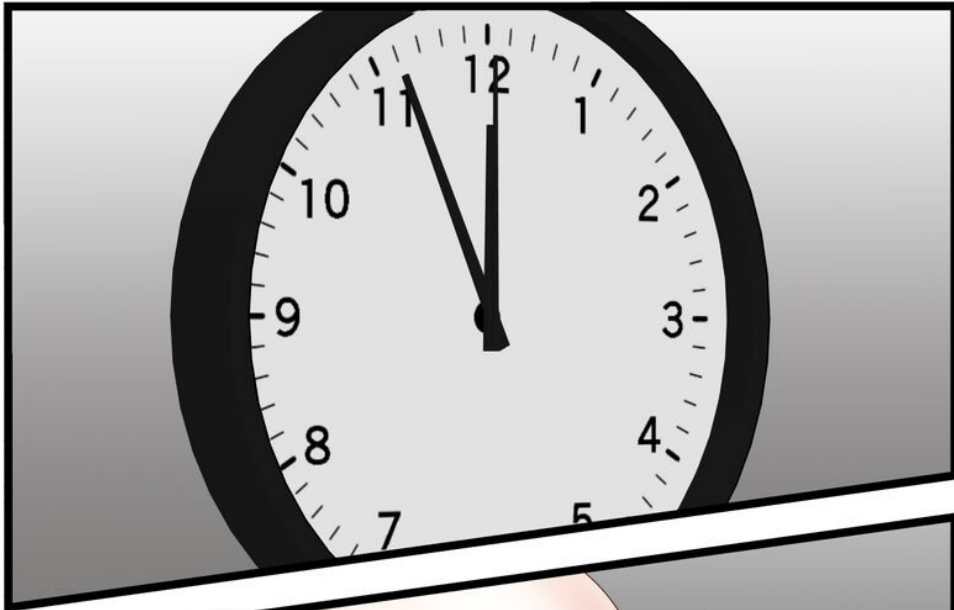








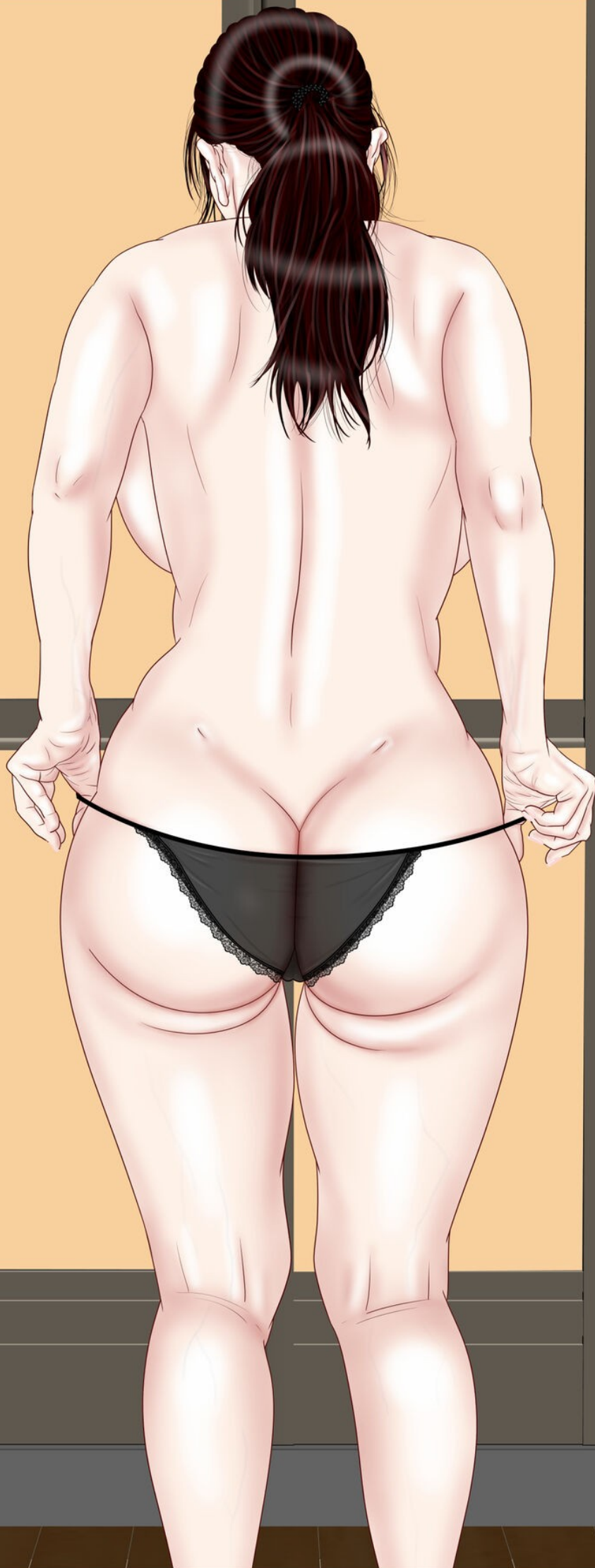
その日、母さんが帰宅したのは
もう午前に近い時刻だった。



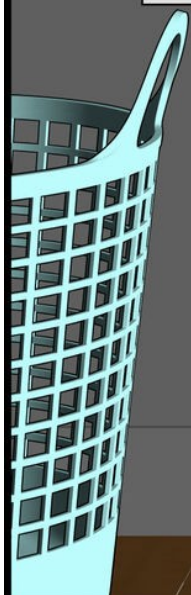
残務処理が溜まっているから
学校で残業をすると聞いていた。

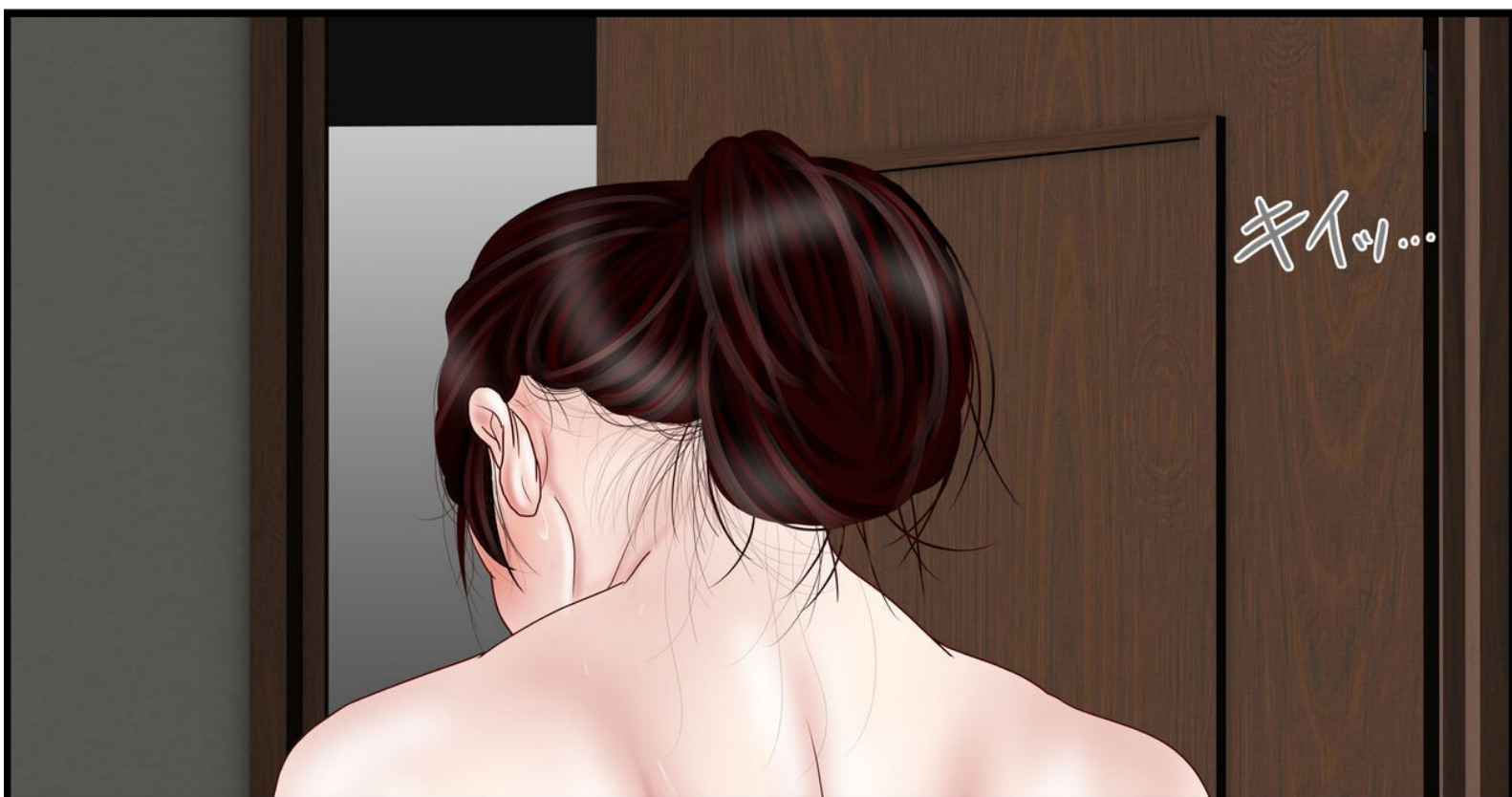
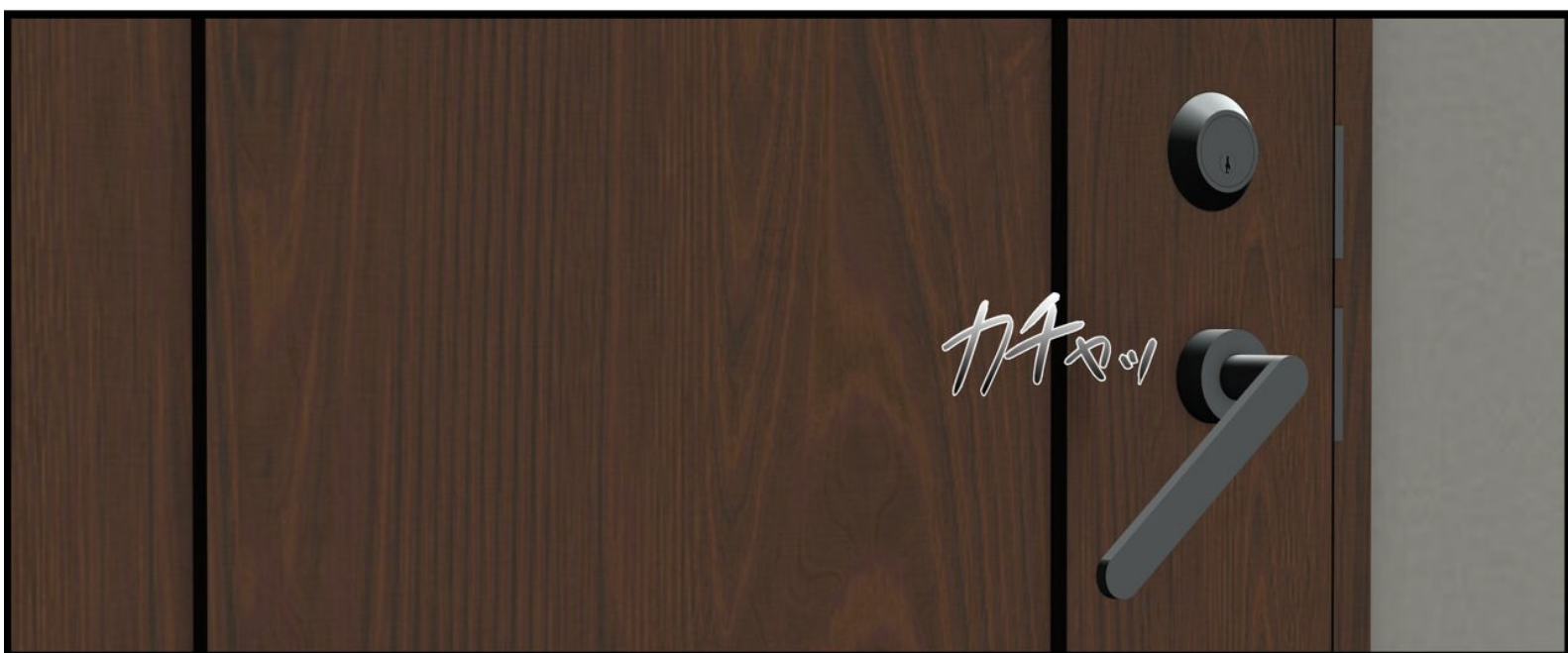
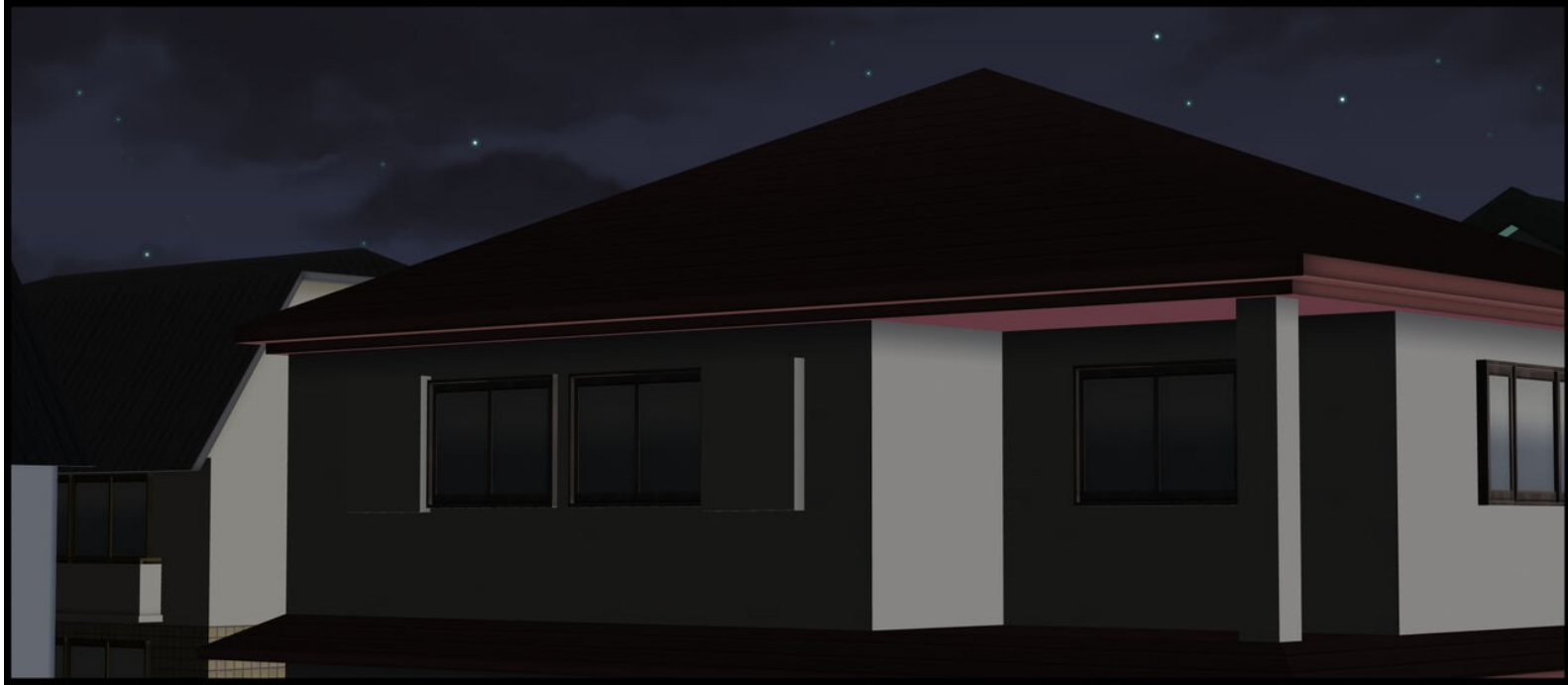
でも、それは嘘だろうと思う。
息子の俺には分かるんだ。

上手くは言えないが、最近の
母さんからは女の匂いがする。



俺は母をずっと……異性として観ていた。
でも……今の母さんはそれだけじゃない。



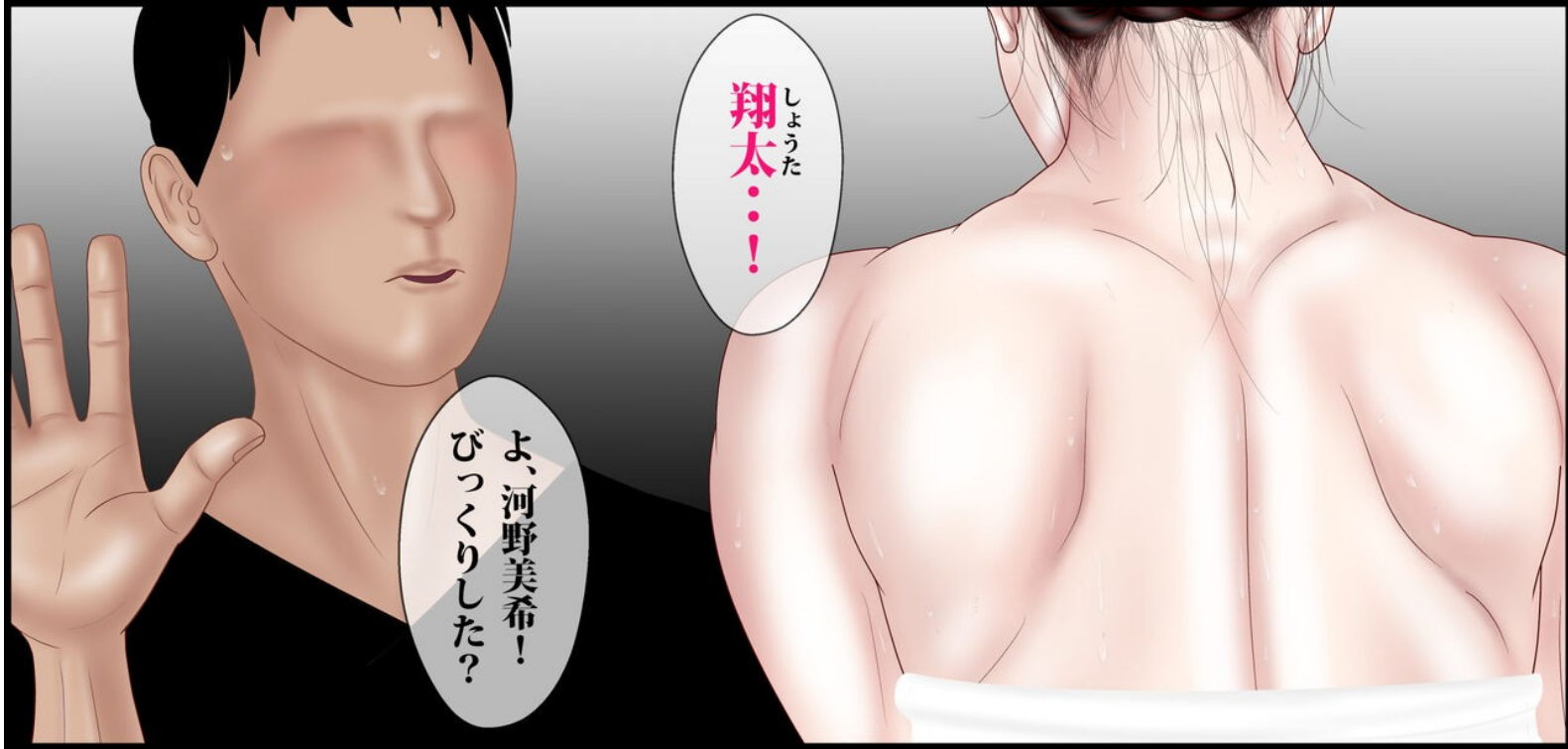


おい、こうの河野美希！

バタン

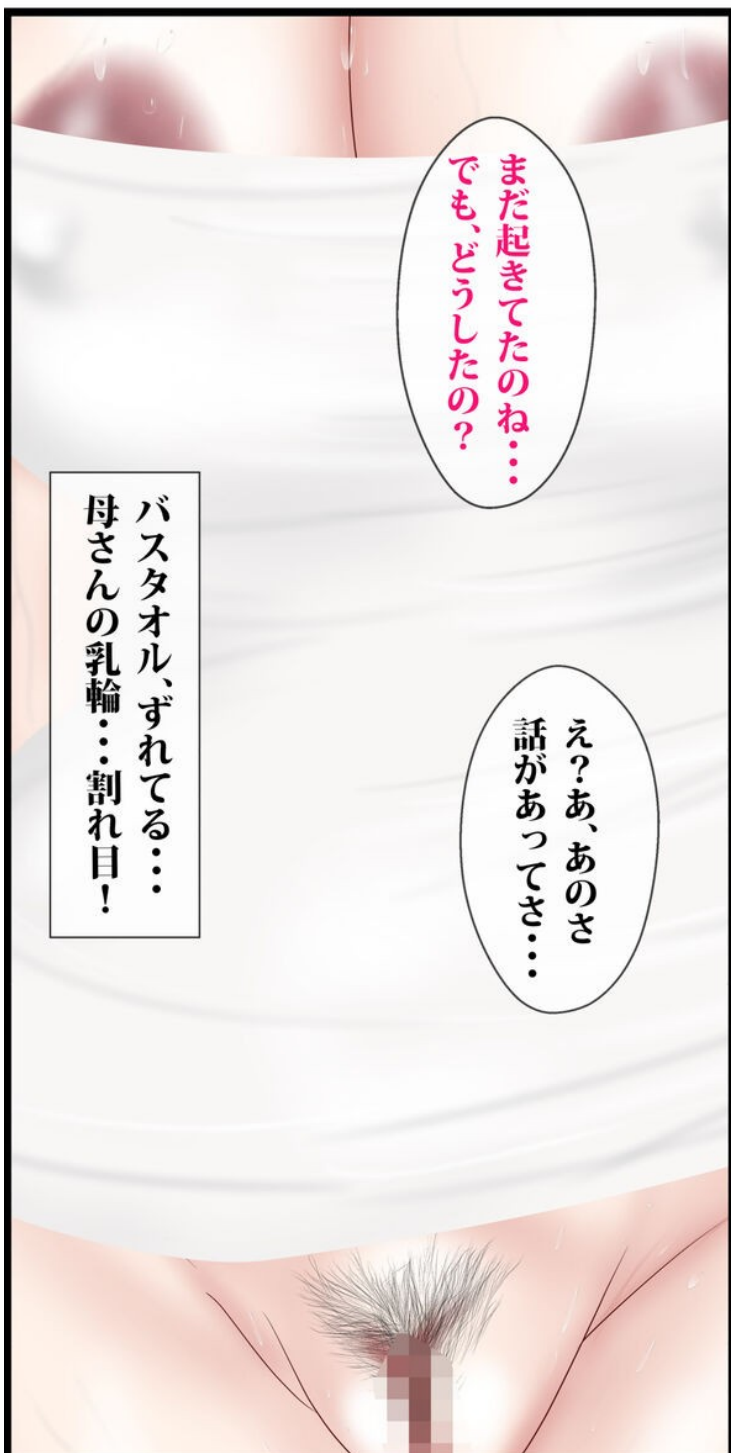
え

おはよう



翔太しょうた……!!

よ、河野美希!
びつくりした?



まだ起きてたのね……
でも、どうしたの?

え? あ、あのさ
話があつてさ……

バスタオル、ずれてる……
母さんの乳輪……割れ目!



もおし、翔太……!!
イタズラはやめて

母さん……心臓が
止まるかと思つたわ

俺さ…友達んち
明日、泊まるから

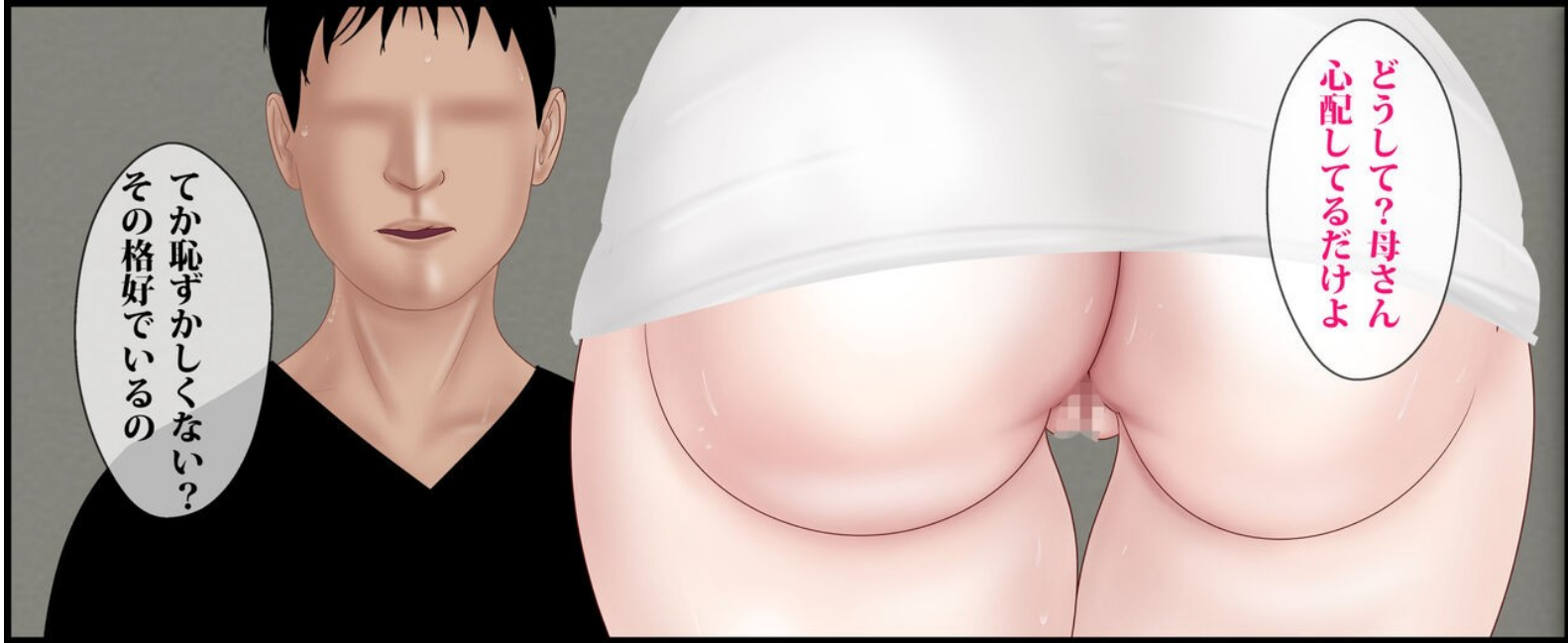
お話？…なあに？

えー、随分急ね…

いや、前から決めてた
忘れてた…だけ

そう…分かったわ
でも誰の所…

良いじゃん、いい加減
子供扱いやめてよ



てか恥ずかしくない？
その格好でいるの

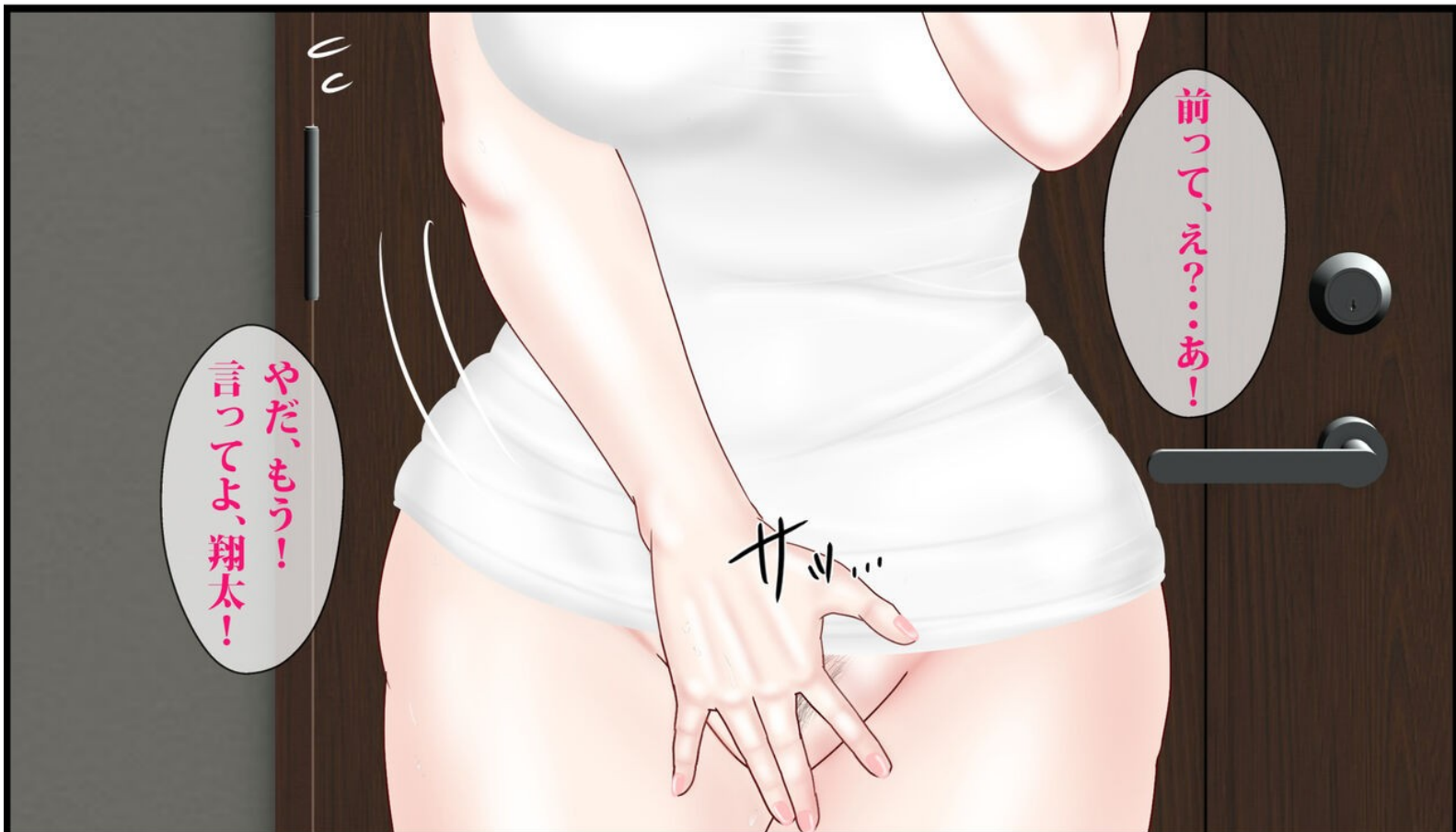
どうして？母さん
心配してるだけよ



でも・・・前とか
結構見えてるよ



別に・・・平気よ？
バスタオルしてるし



前って、え？・・・あ！

やだ、もう！
言つてよ、翔太！



いやいや、だから
今言ったじゃん

ダメよ、もつと
早く教えて…

見られて恥ずかしいの？
自分の息子なのに

だって、それは…
場所…によるわ…

とにかく明日、友達のお家
に泊まるんでしょ

明日の夜で良いわ
また連絡してね？

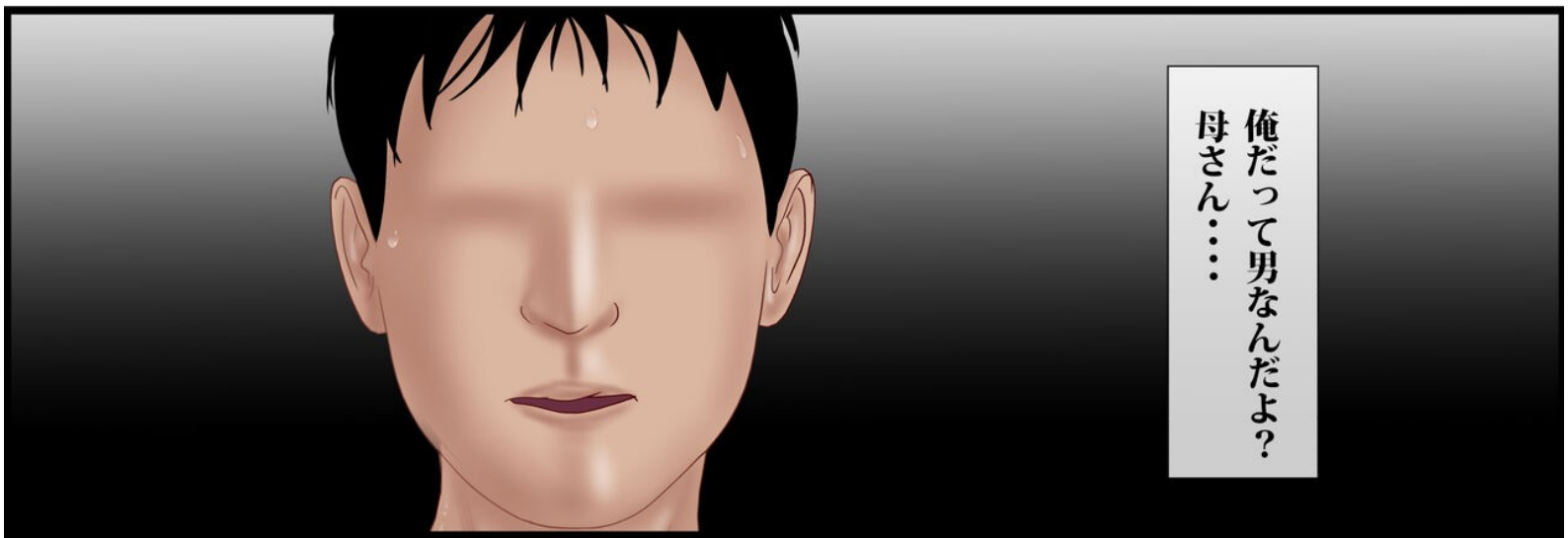
ヤバイ…母さん可愛い…





今日だってこんな深夜まで
何してたんだよ…男か？

熟れた身体を見せつけて…
息子なら安心ってか？



俺だって男なんだよ？
母さん…

次の日、母さんは学校へ
何食わぬ顔で出掛けた。

そうですか…では
補習授業は今の所…

問題は無いと言う認識で
宜しいですか？河野先生

いつもの様に、豊満な身体に
嫌らしい下着を着けて。

はい…今は順調に
推移出来ております



校長室

Fランクの彼らには
正直、良い噂は聞かない

それは良かった…いや
実は心配していたんです

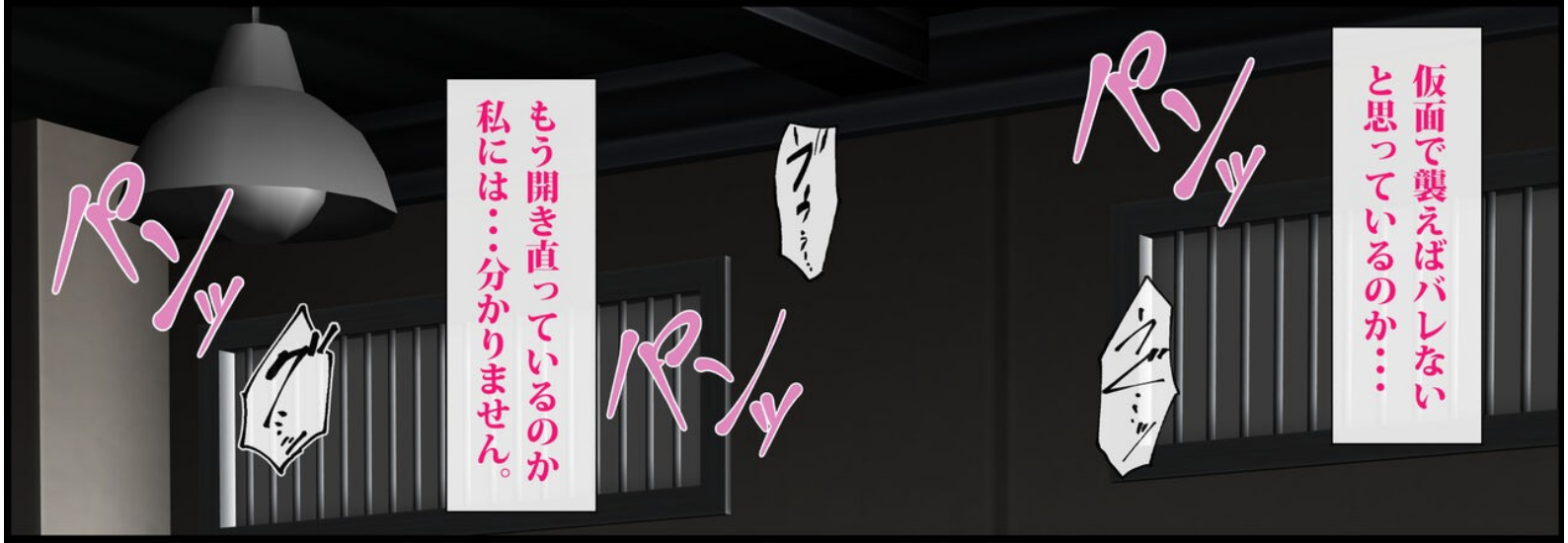
授業の妨害や、それ以上の
事をしてはいないかと…

いいえ、大丈夫です
授業も順調ですし…

お氣にかけて頂き
有難うございます

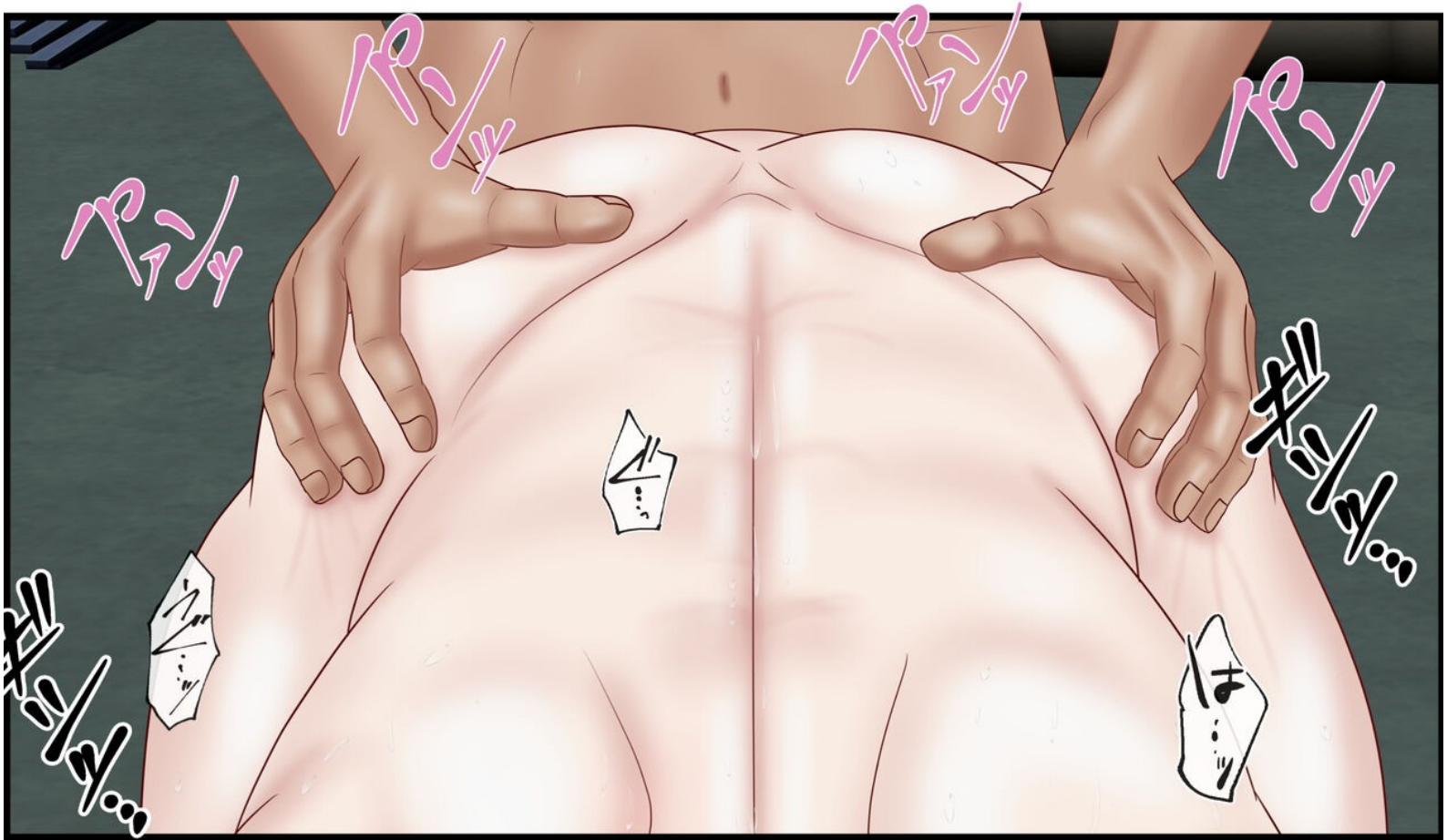
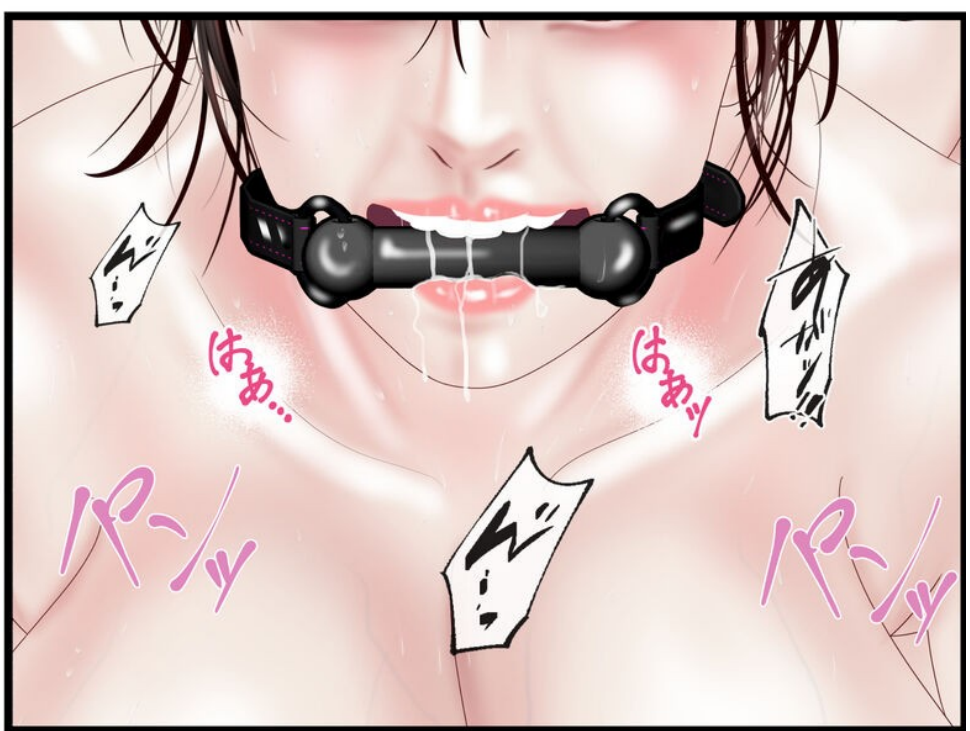
彼らが今、私をどう扱っているのか。
その行為を、言える筈ありません。

私は…校長先生に嘘をつきました。



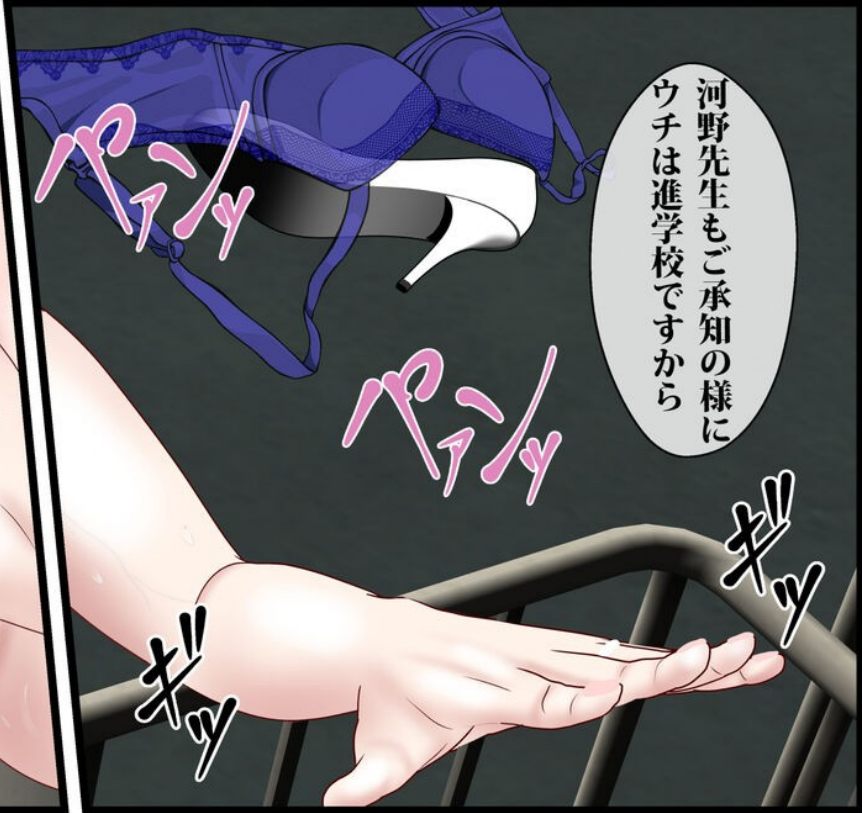
もう開き直っているのか
私には...分かりません。

仮面で襲えばバレない
と思っっているのか...





出来るだけ...全員の
学力を上げてやりたい



河野先生もご承知の様に
ウチは進学校ですから



いえ、そんな...息子も
まだまだ子供ですから

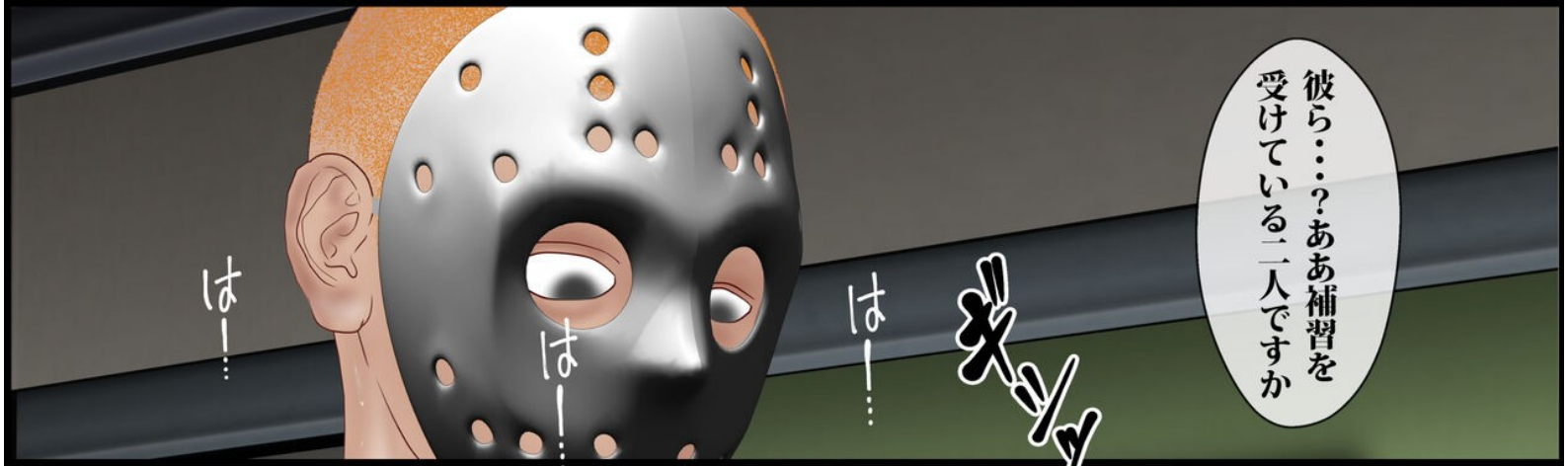
先生の息子さんの様なら
楽なんですが...ハハハ



ヒクヒクヒクヒク...

いえ、子供です...
彼らと違って...

河野君が子供...?
そんな事はないでしょう



彼ら...? ああ補習を受けている二人ですか

は...

は...

は...

オオオ...



はい...あの二人は...翔太とは違います...

あつは!

は...

オオオ...

オオオ...

オオ...

オオ...

オオ...

今日、息子はお友達の家
に泊まるんです

ほう、友達に誘われた
のでしょうか

はい、でも誰のお家か
言わなくて……

私は心配だから誰の所
って訊くんですけど

子供扱いするなって……
ふふ……本当に子供です

なるほど……
そうでしたか……

ただ……それは本当に
言いたくないのかも
知れませんが、先生

言いたくない……?
どうしてでしょうか

若者は大人になるに
つれ……秘密が増える

秘密……ですか……?

我々大人が良い見本
ですよ、河野先生

大人になれば必ず
秘密が出来ます

言えない事が増えていく
それが大人になる道順です



まあ…これは私の
戯言ですがね、ハハハ

いいえ…仰る通りかも
知れません…




おや、もうこんな時間か

先生、今日はすみません
お休みの所を私の為に

いえいえ、とんでもない
私がお誘いしたんです






では私はこれで失礼します

はい、お疲れ様でした

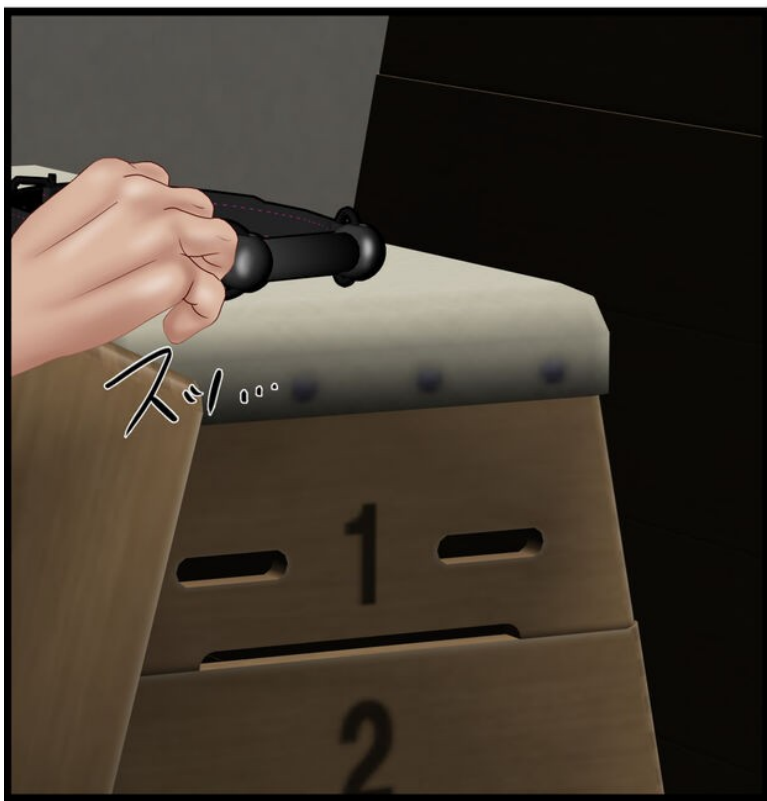
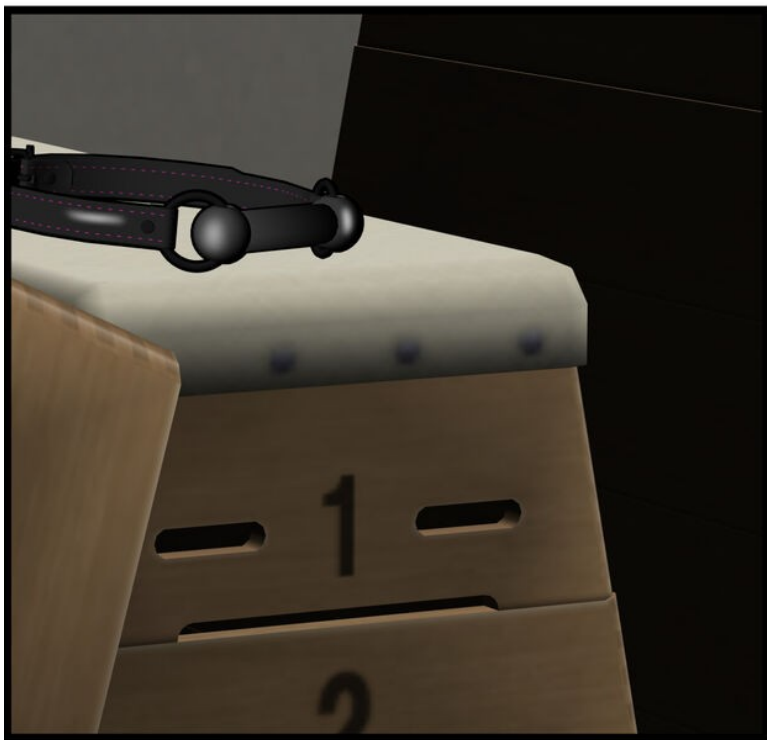
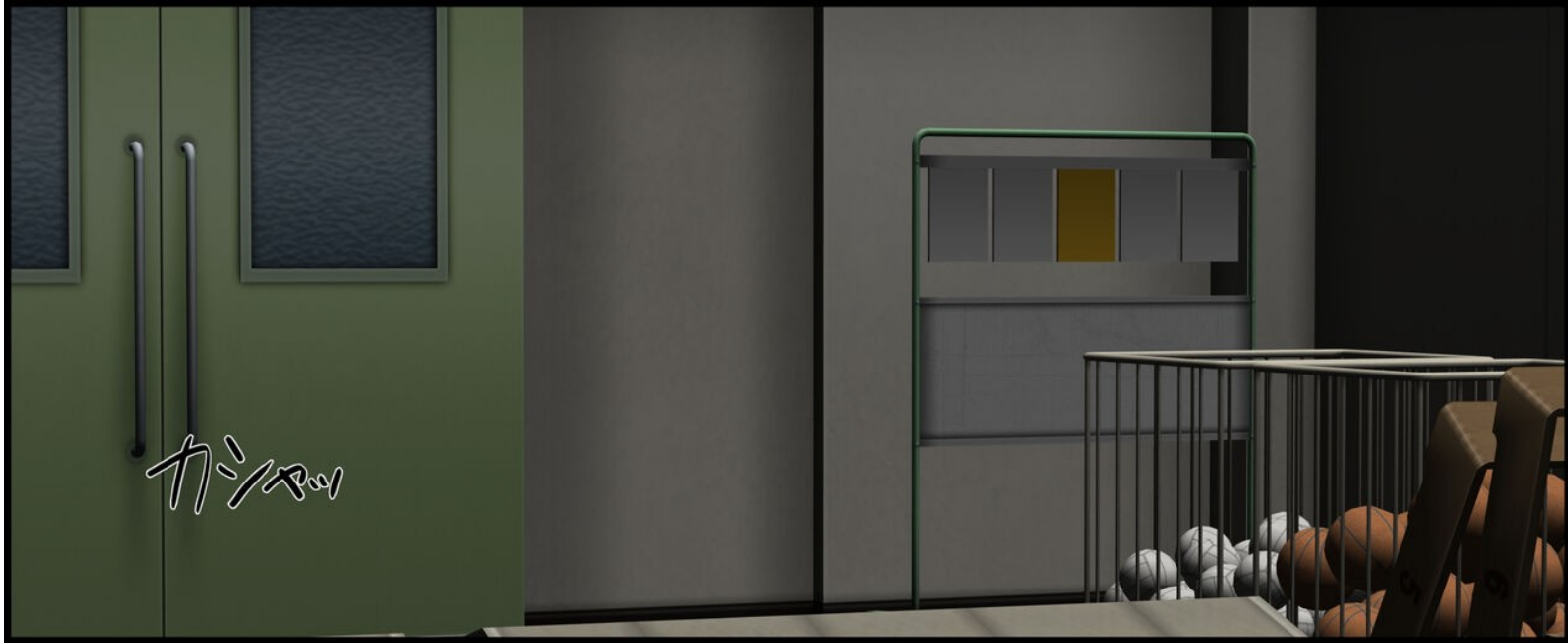
河野先生も今日は
早くお帰りください

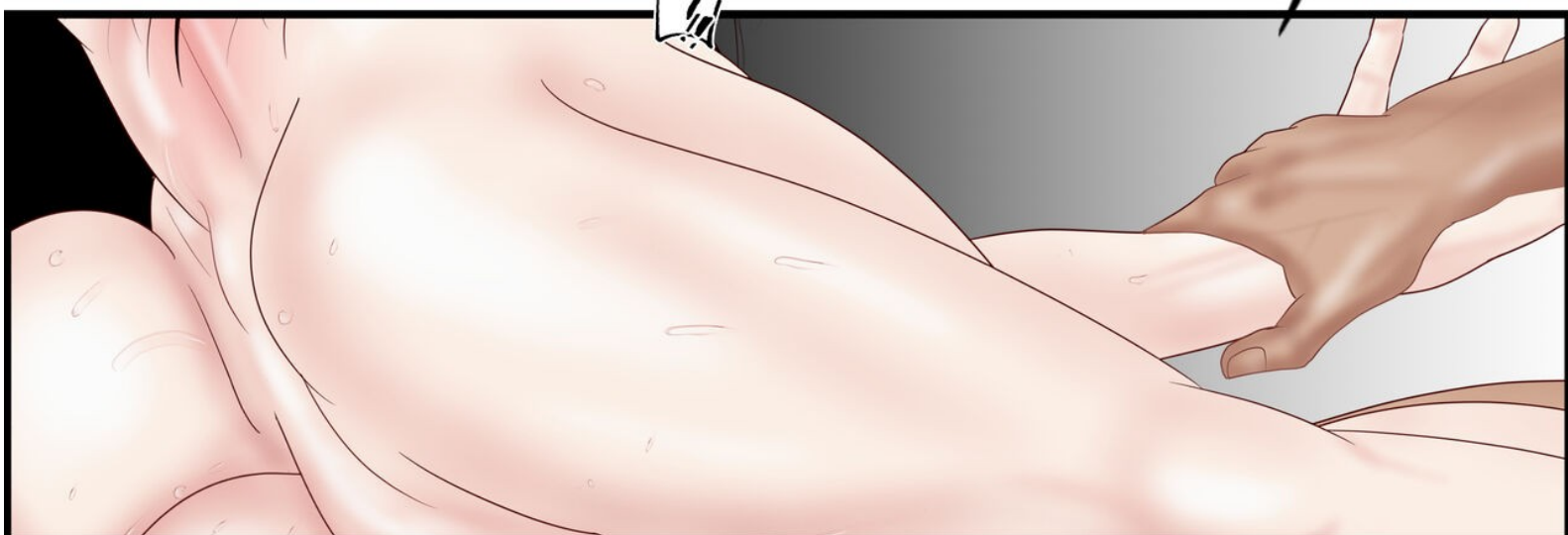
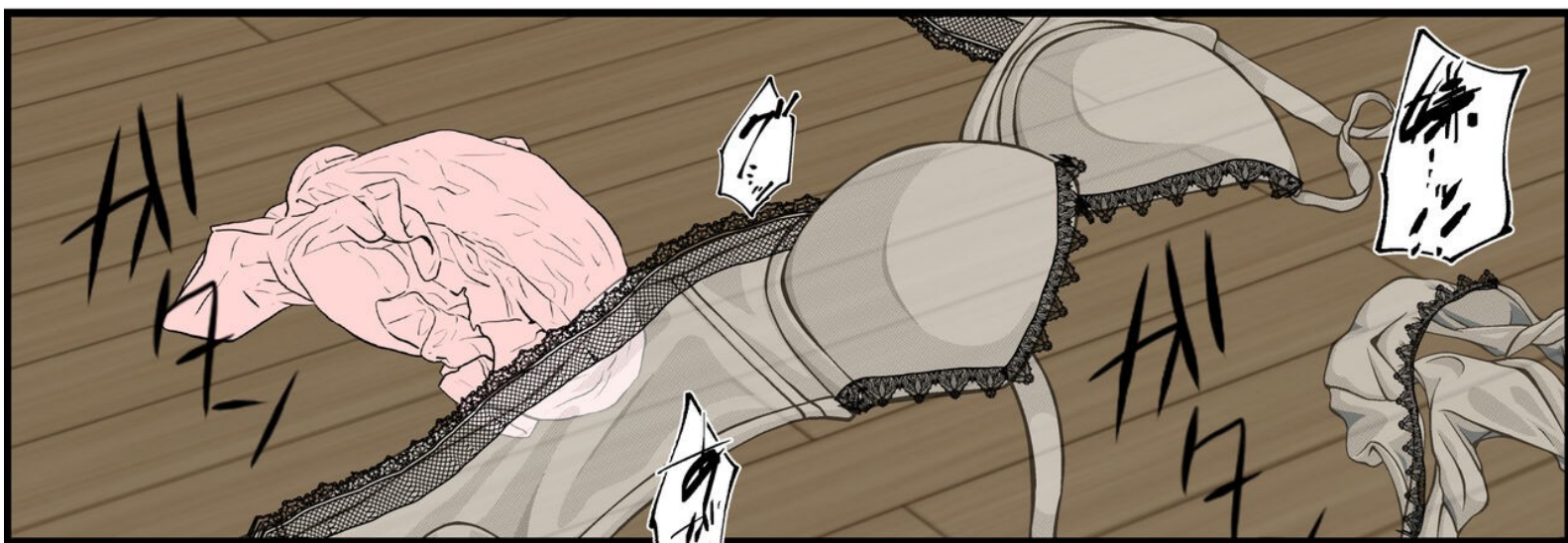
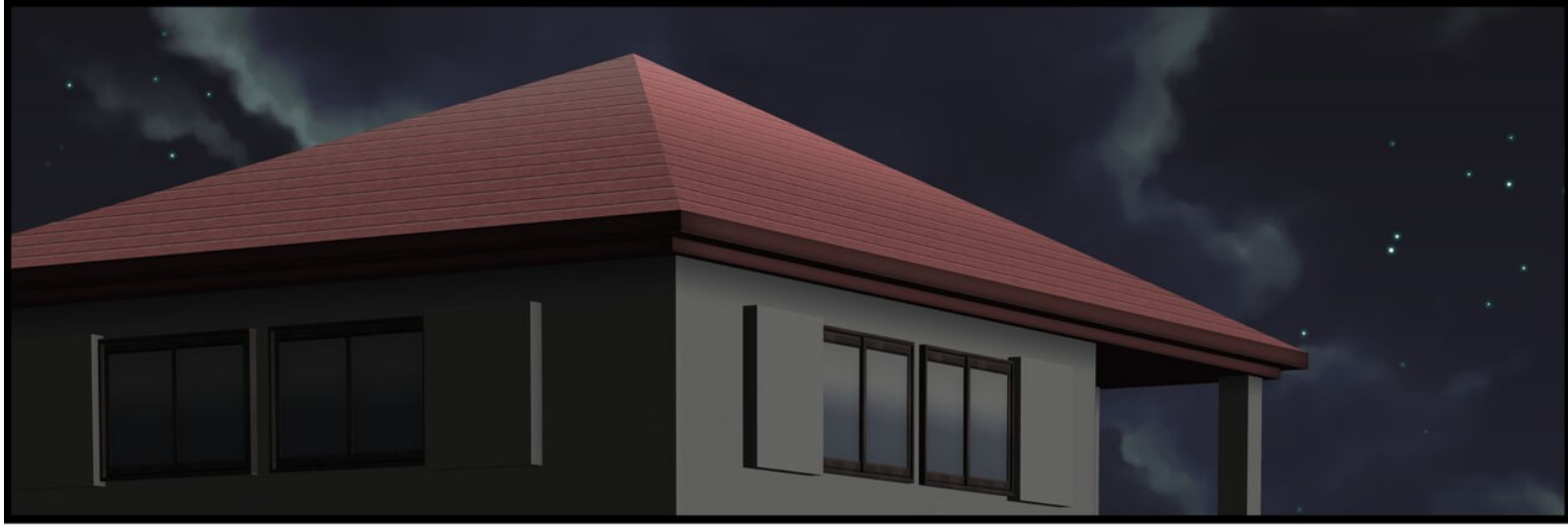
有難うございます
今日は家も一人なので
もう少し居ます……



分かりました、ではこれからも
あの二人を宜しくお願いします

言えないわ……この秘密だけは。
絶対に……言えない……。

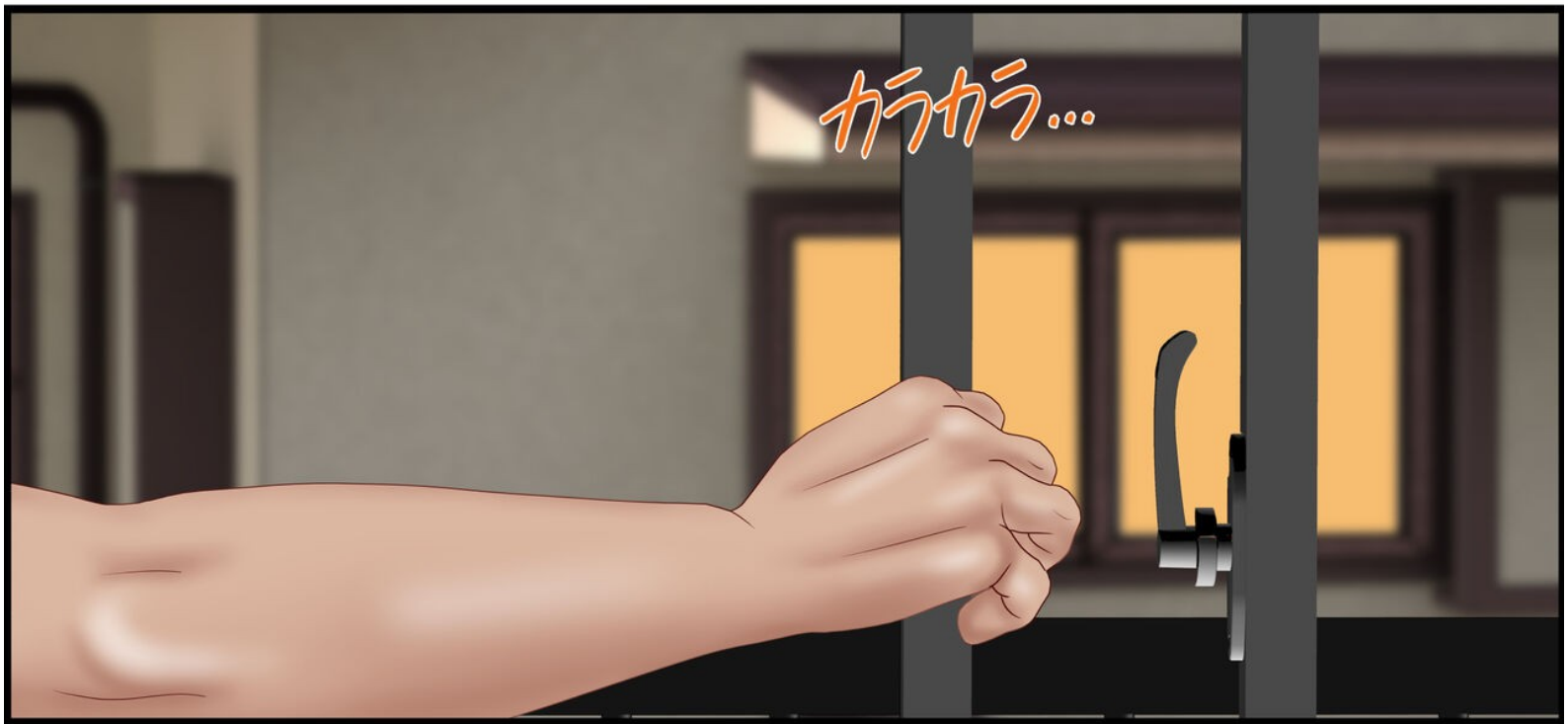




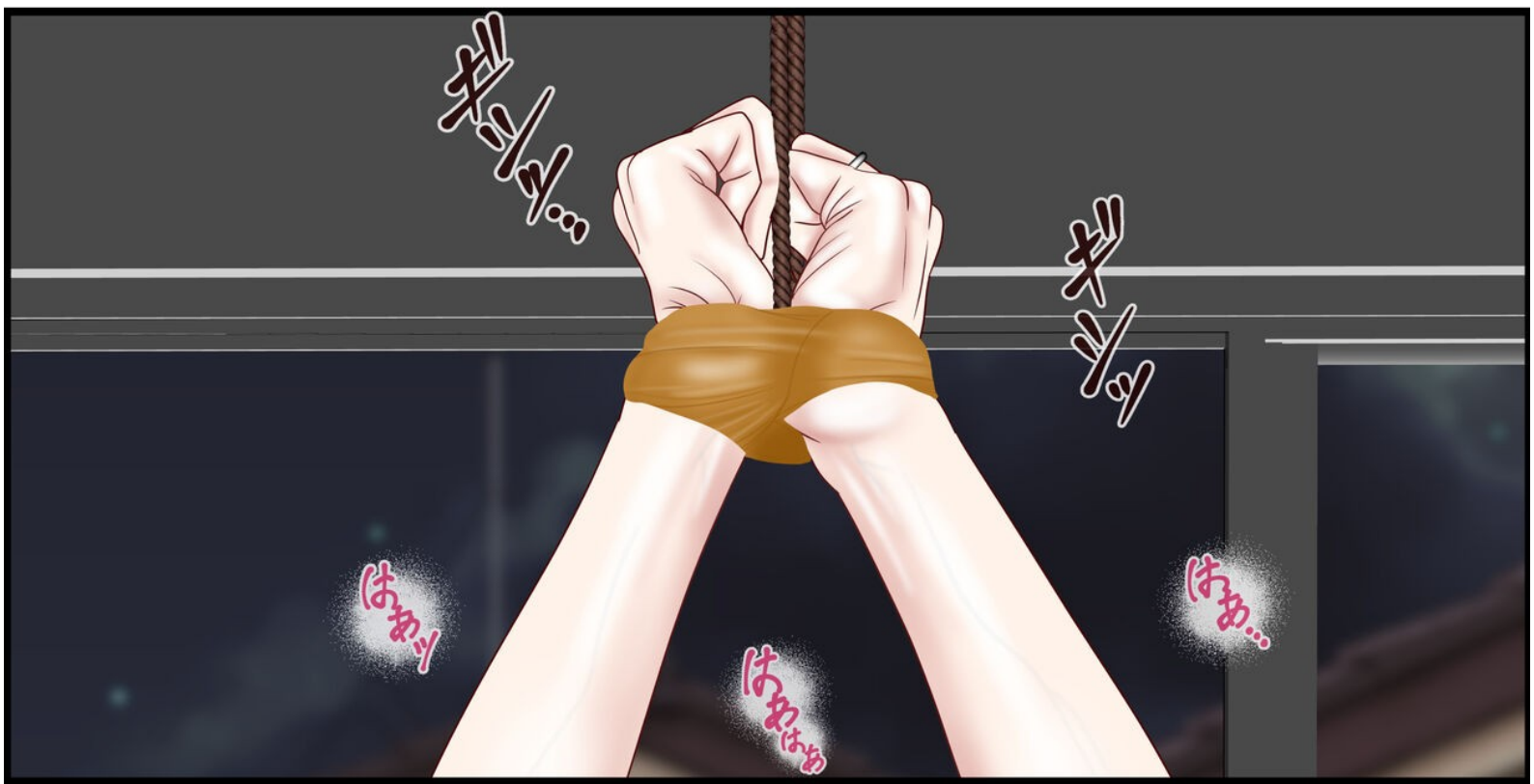




カチヤッ



カラカラ...



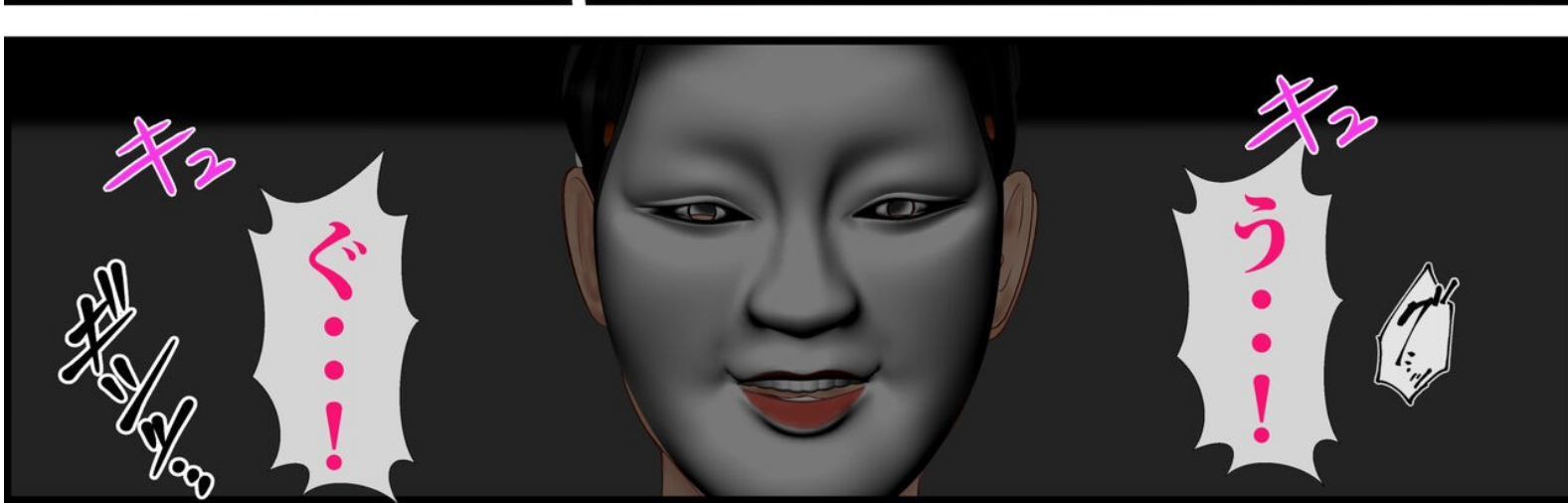
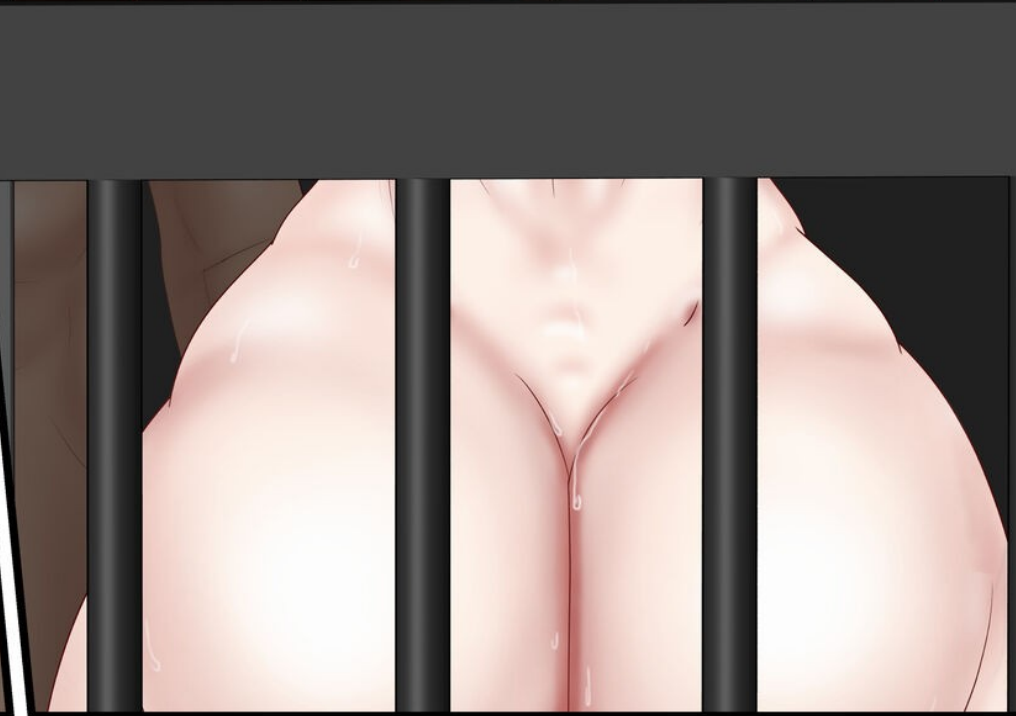
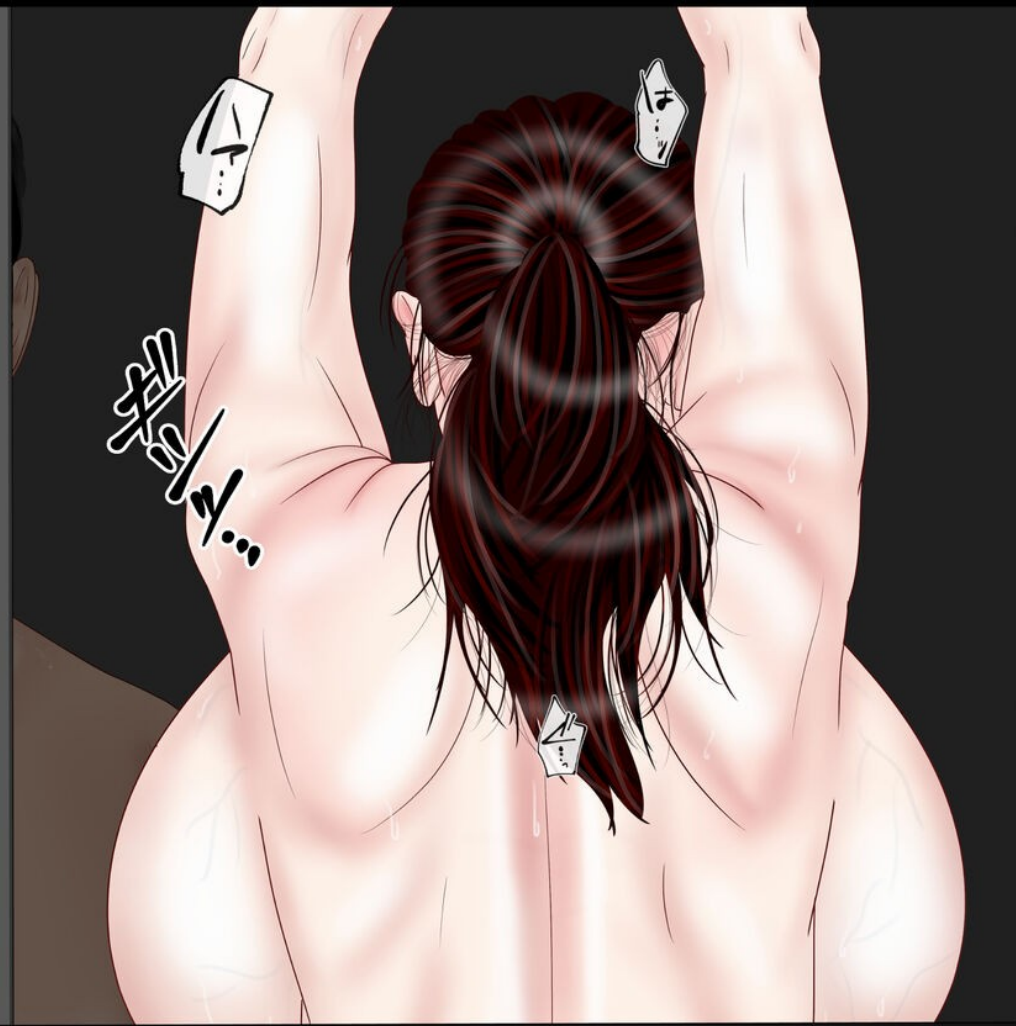
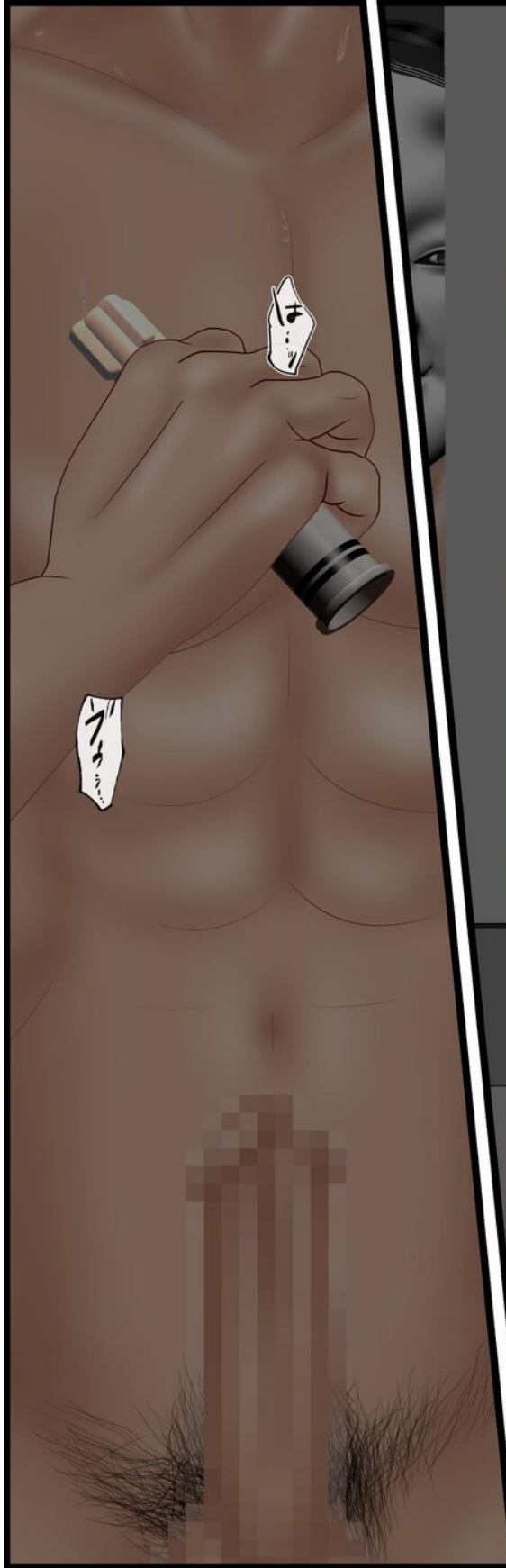
カチヤッ...

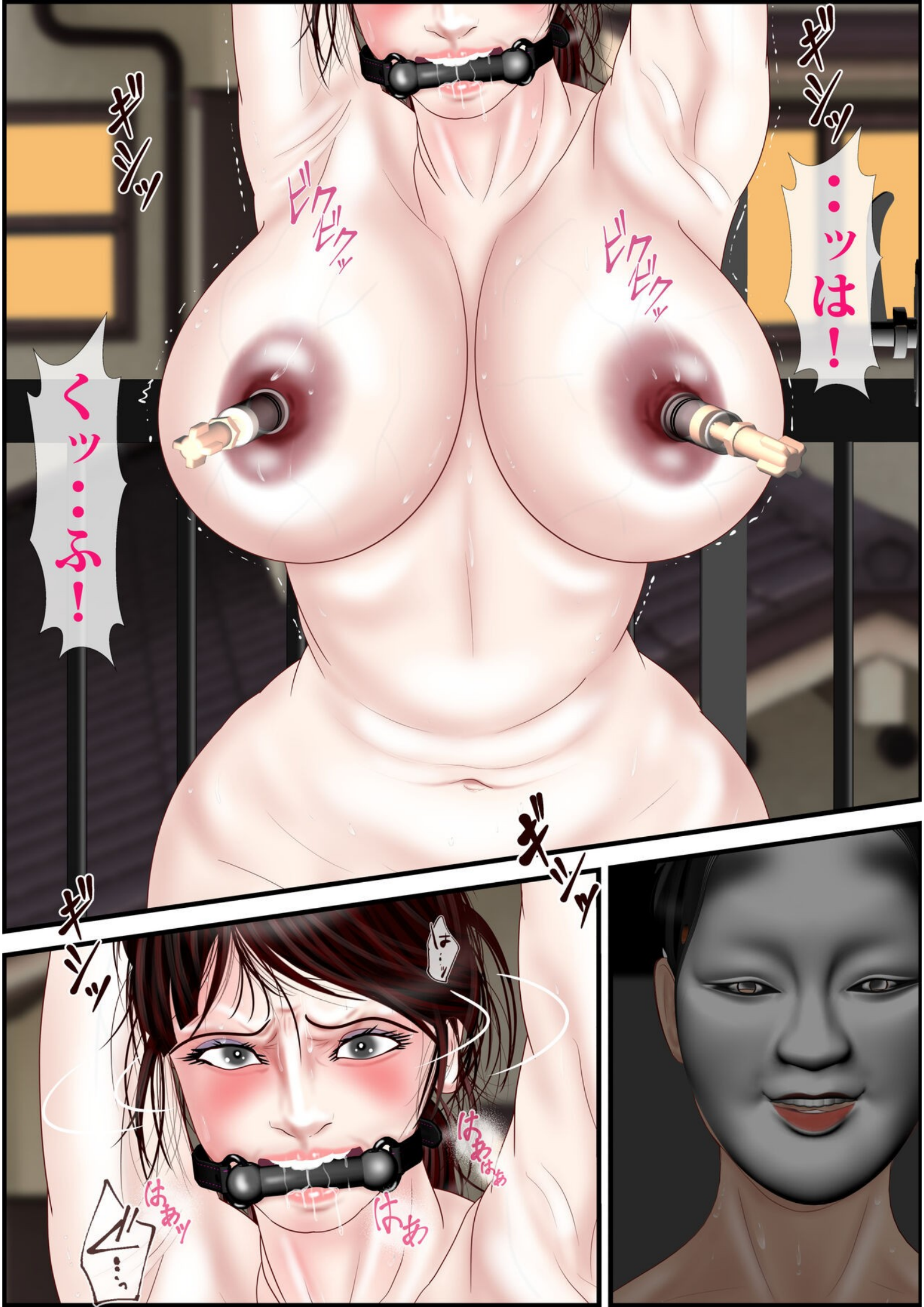
カチヤッ

はぁ...

はぁはぁ

はぁ...





ツは!

ピクピク

ピクピク

くっ...

クッ

クッ

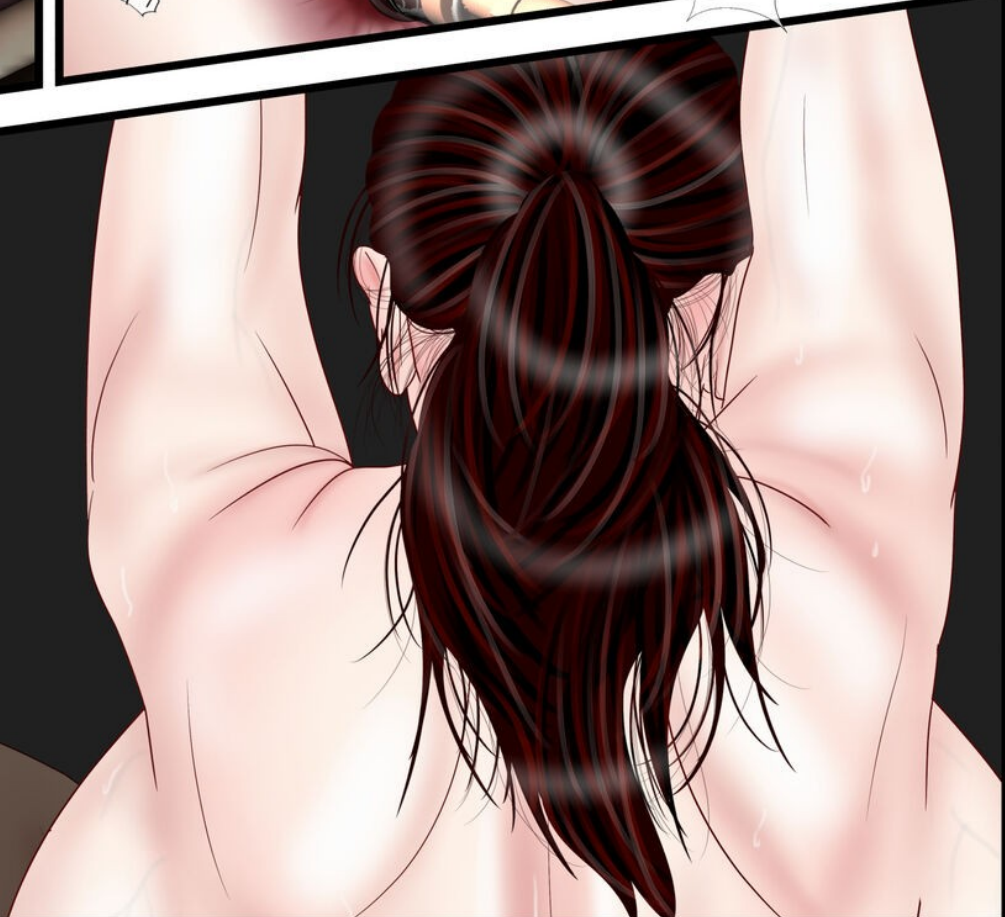
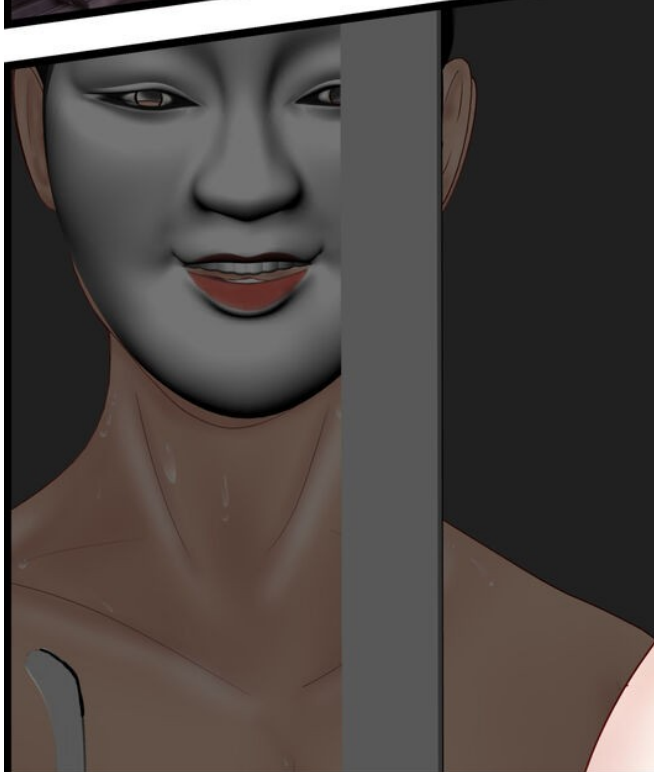
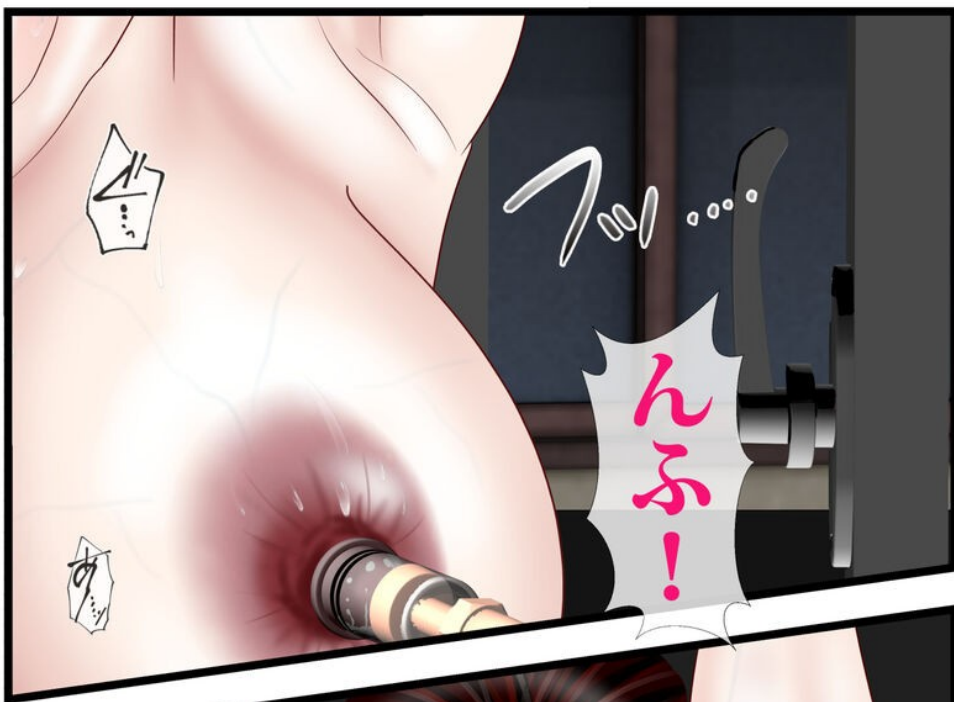
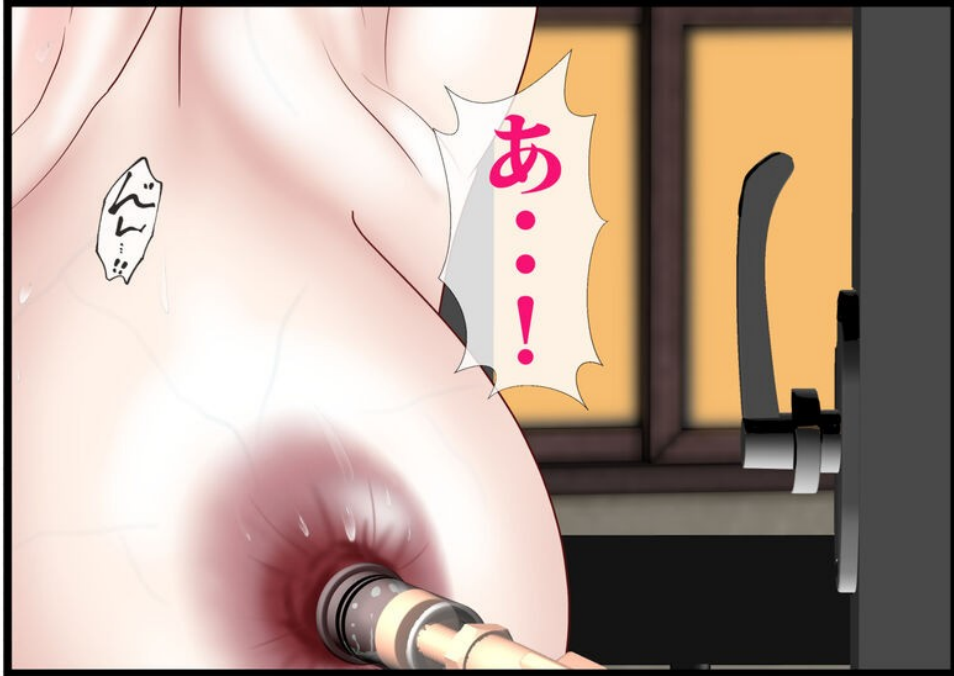
はあ

はあ

はあ

...







あゝ

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ

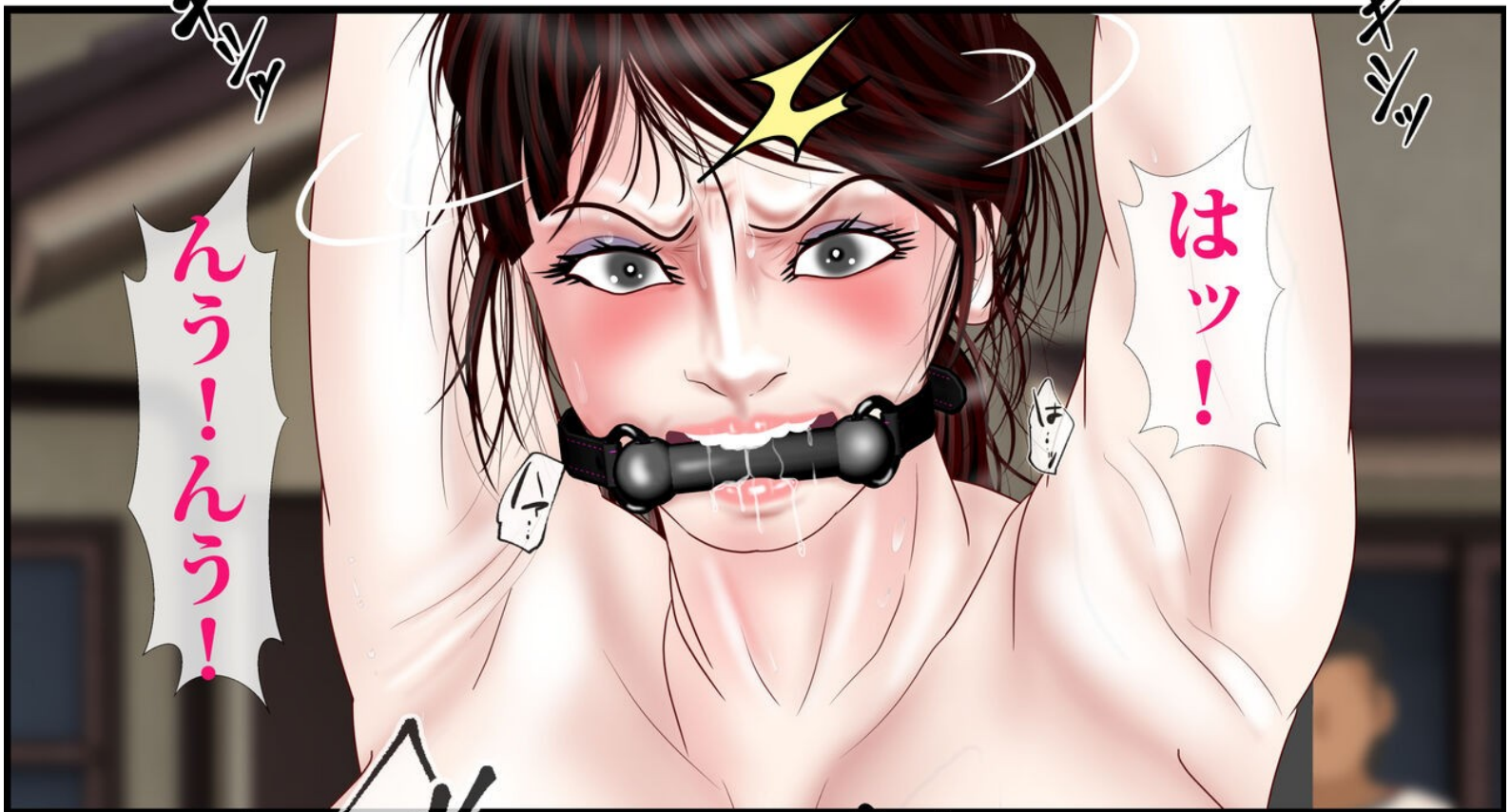
あゝ

あゝ



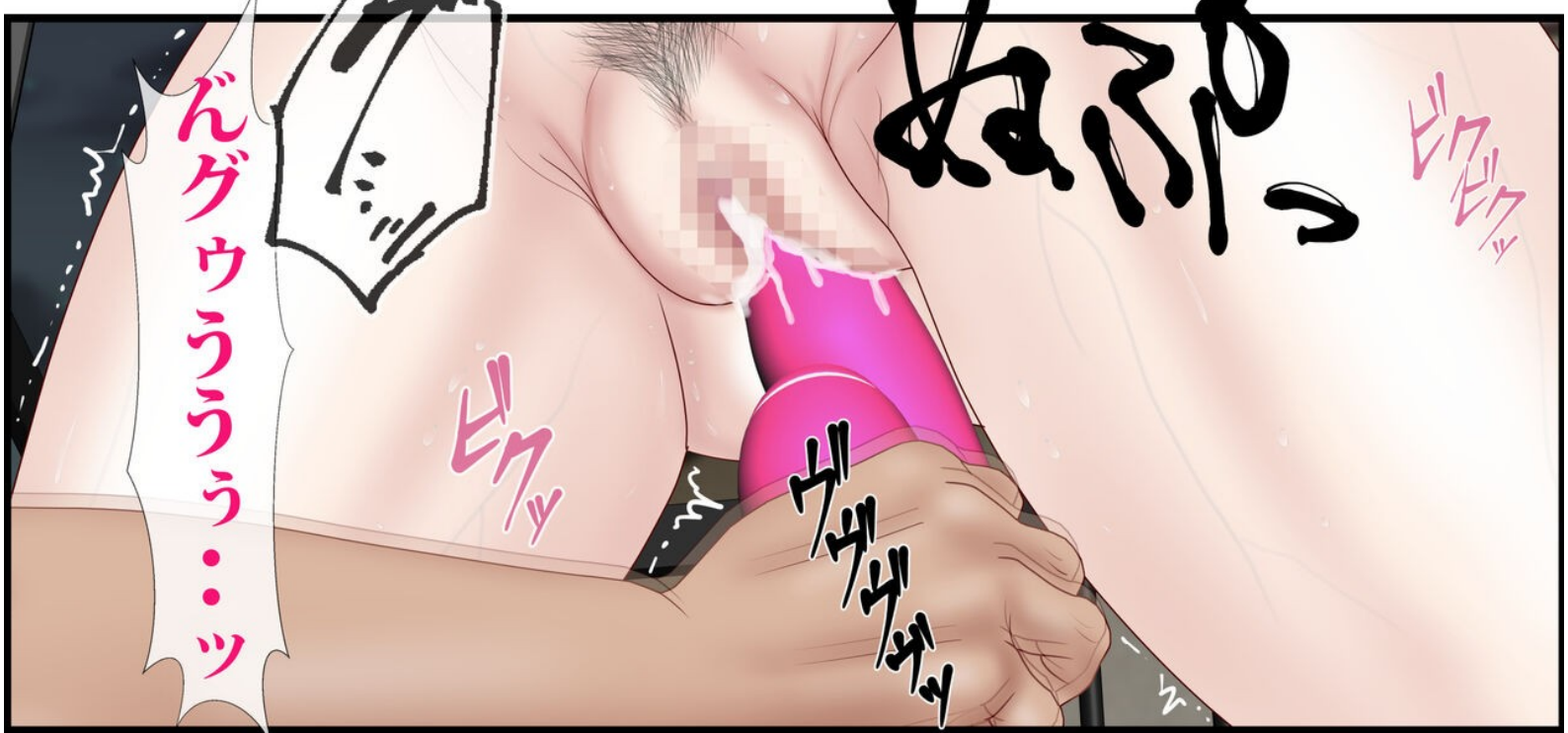
ズル...

グイグイグイ...



んう!んう!

はッ!



んぐうううう...ッ

ぬるっ

ビクビク

ビク

ググググ





ん
...
!

ん
ク
ウ
う
う
う
...
ッ
!

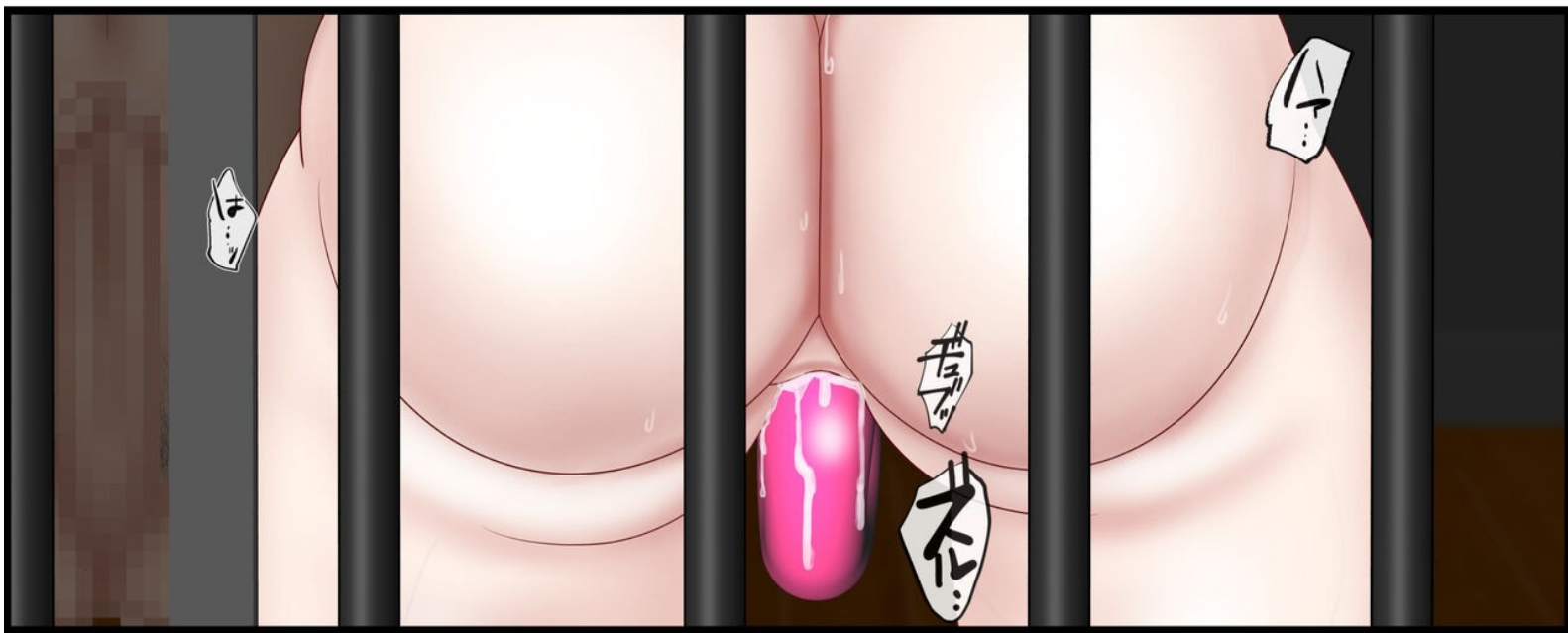
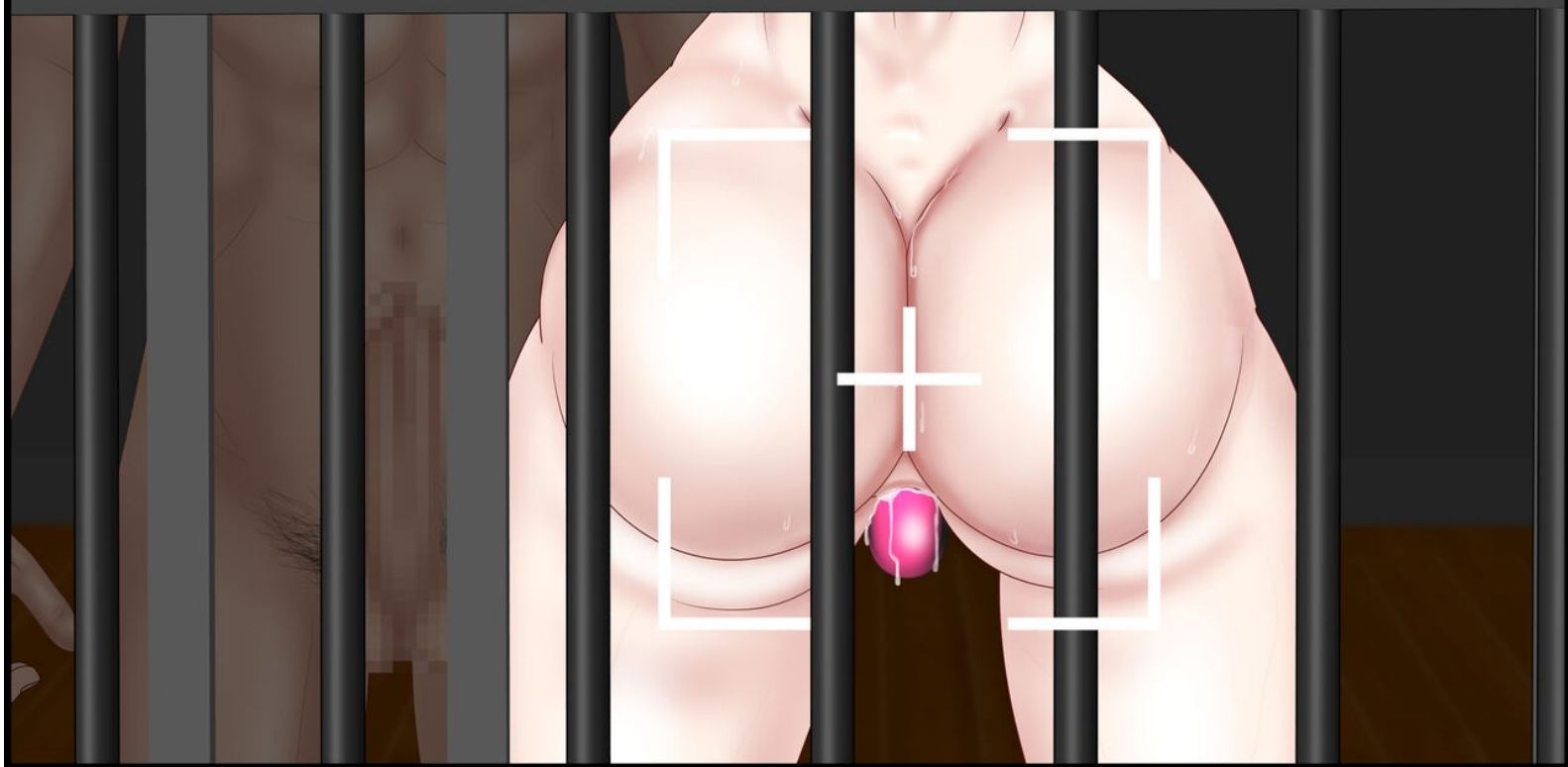
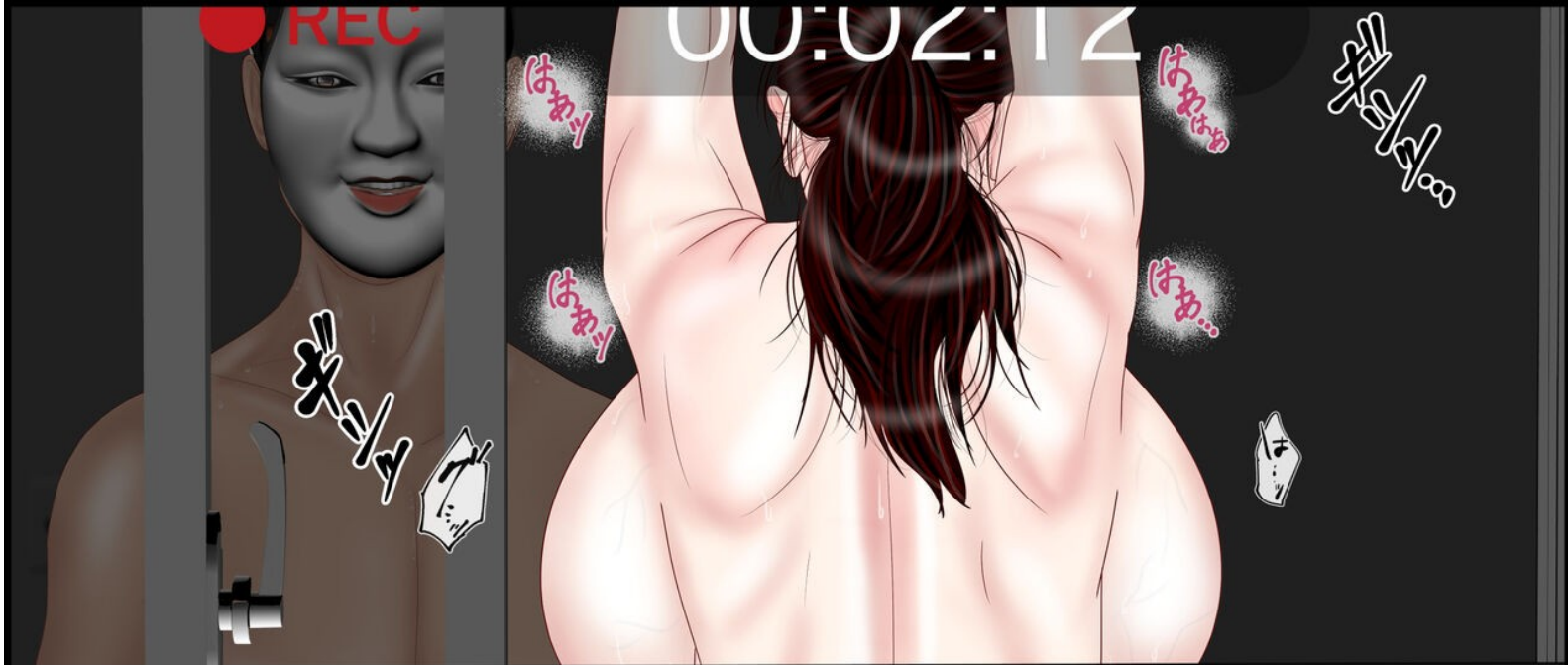
ん
ん
ん

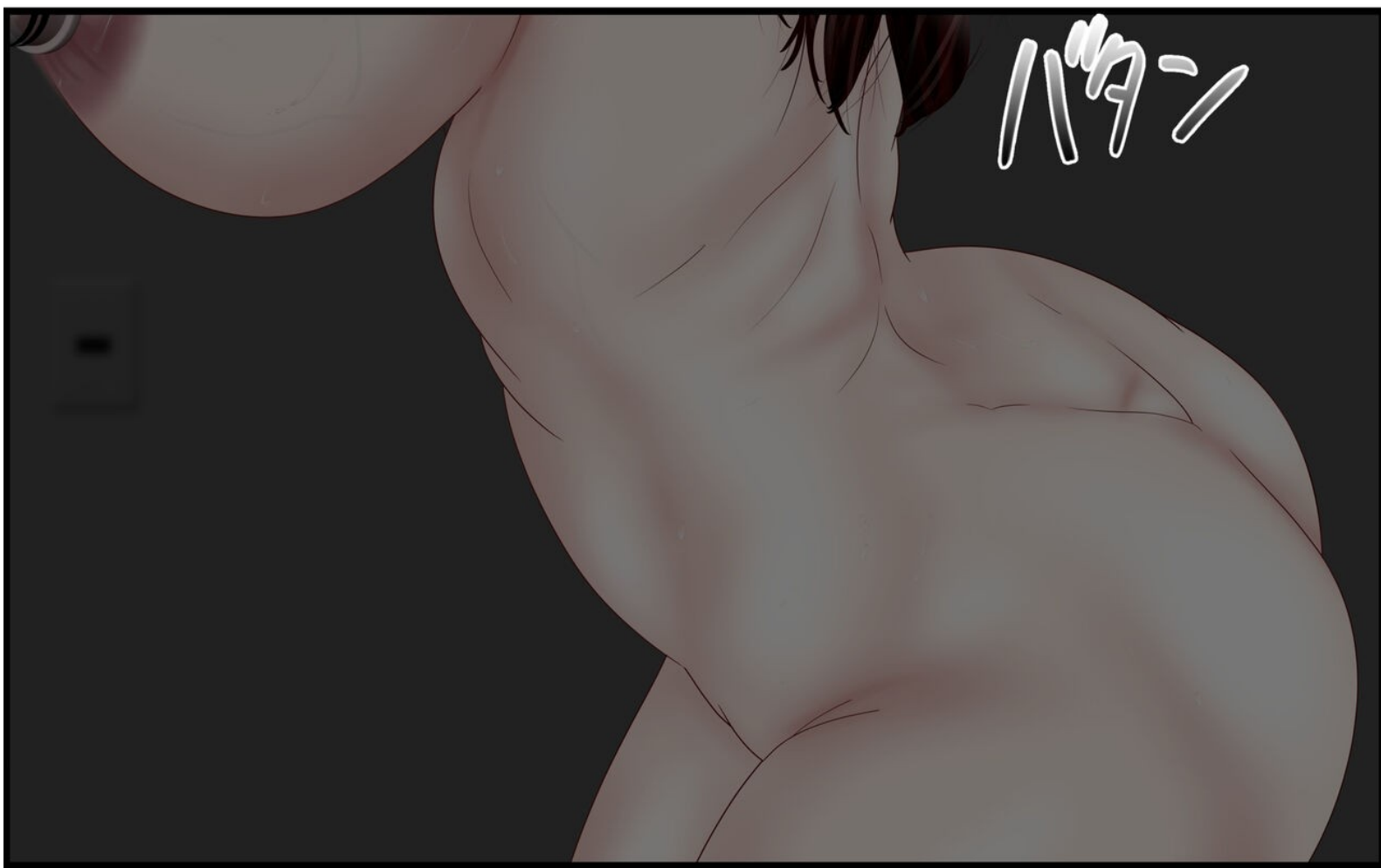
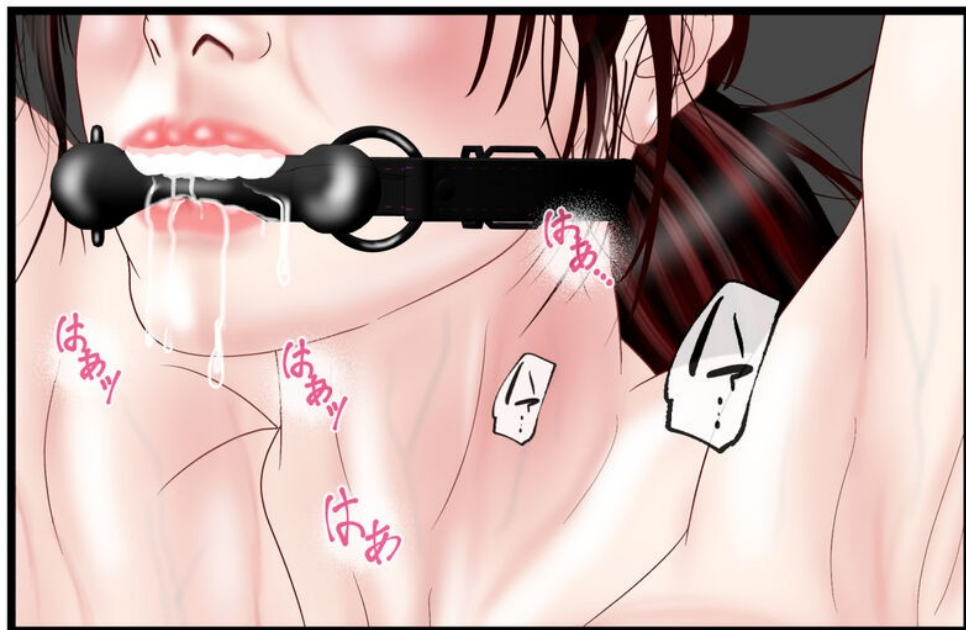
ん
ん
ん

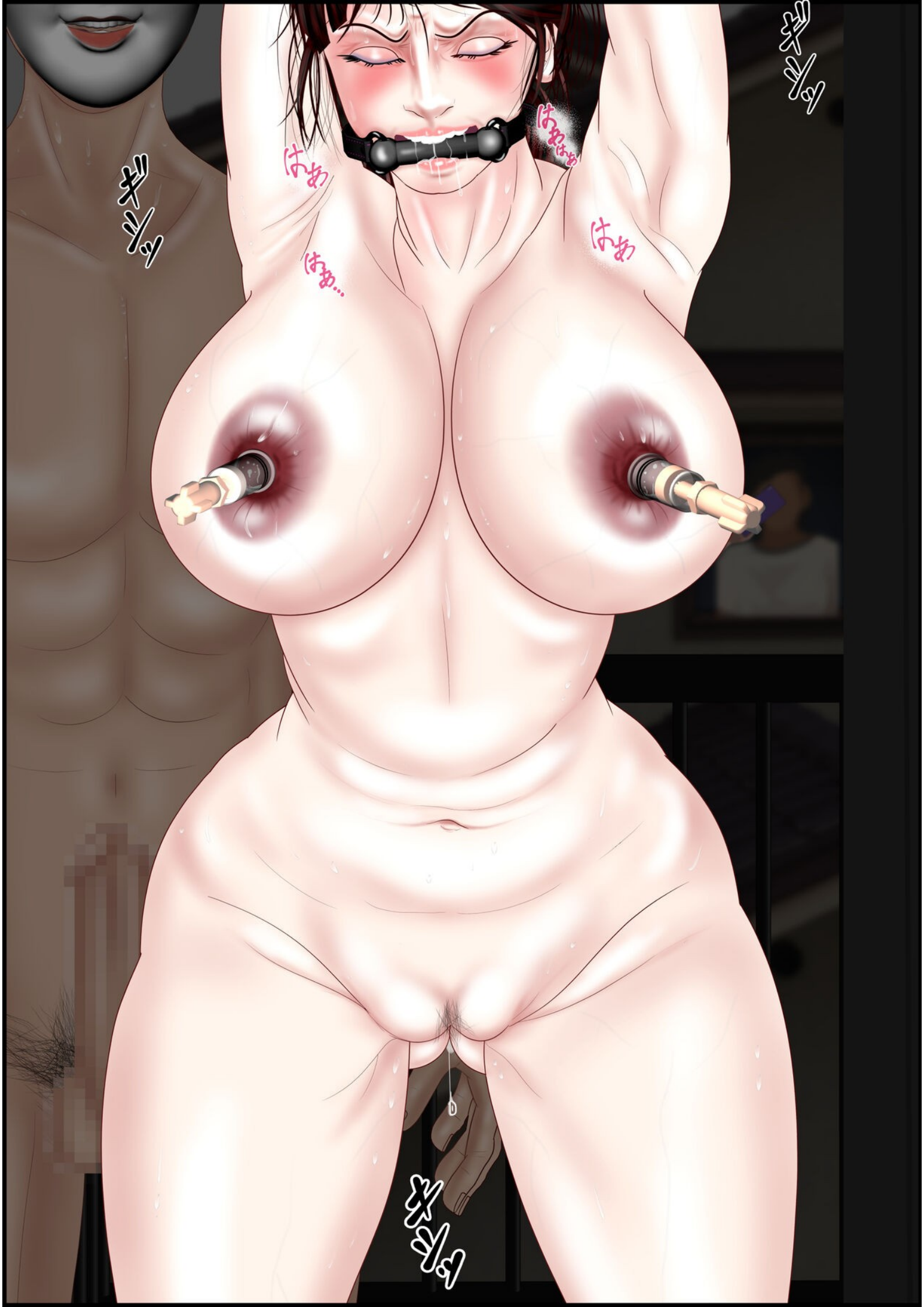
ん
ん
ん
...

ん
ん
ん
ん

ん
ん
ん







はぁ

はぁ

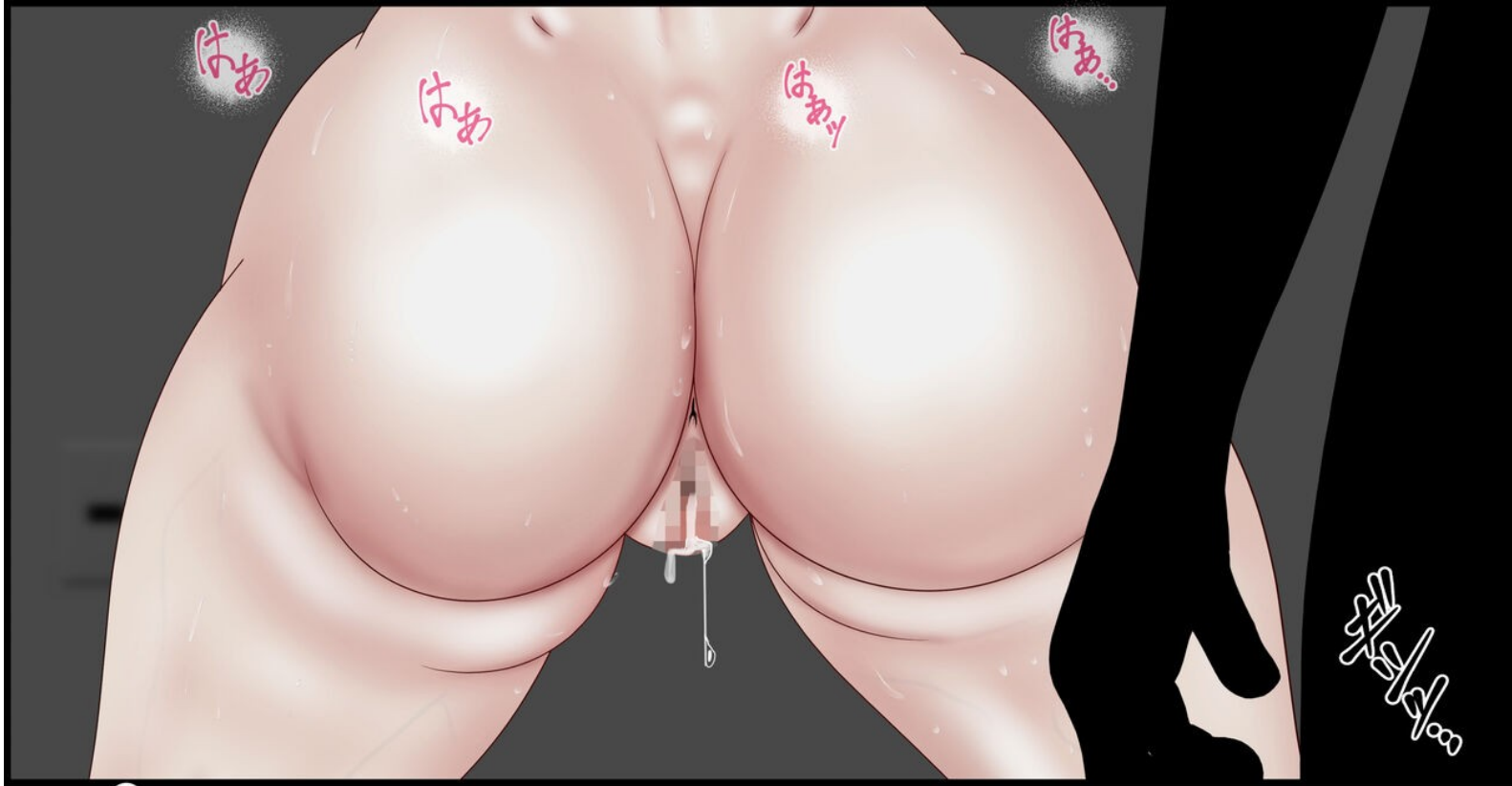
はぁ

はぁ...

はぁ

はぁ

はぁ





うーん…
まあ…確かに

草生えるって
ヒドくね?その女

でき、それから連絡
全く無いわけよ



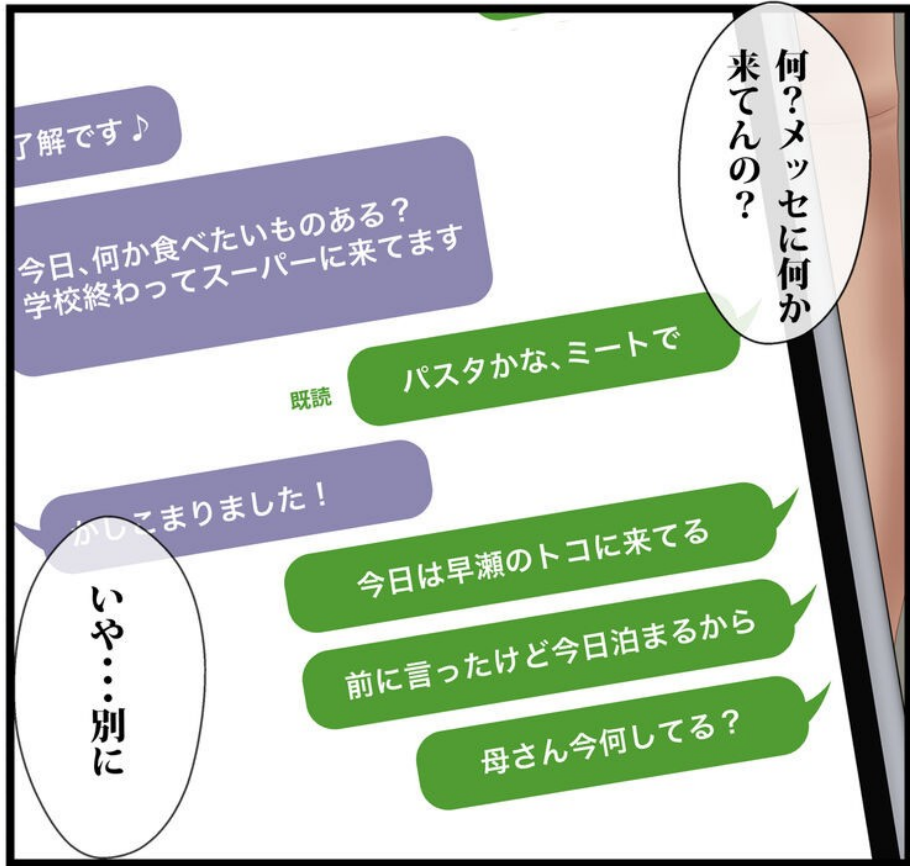
そっか?大丈夫だよ

どした?何か今日
翔太、元氣ねーな



てか腹減ったなあ
コンビニ行かね?

ああ…いいね
行くわ



了解です♪

今日、何か食べたいものある?
学校終わってスーパーに来てます

既読
パスタかな、ミートで

かいてまりました!

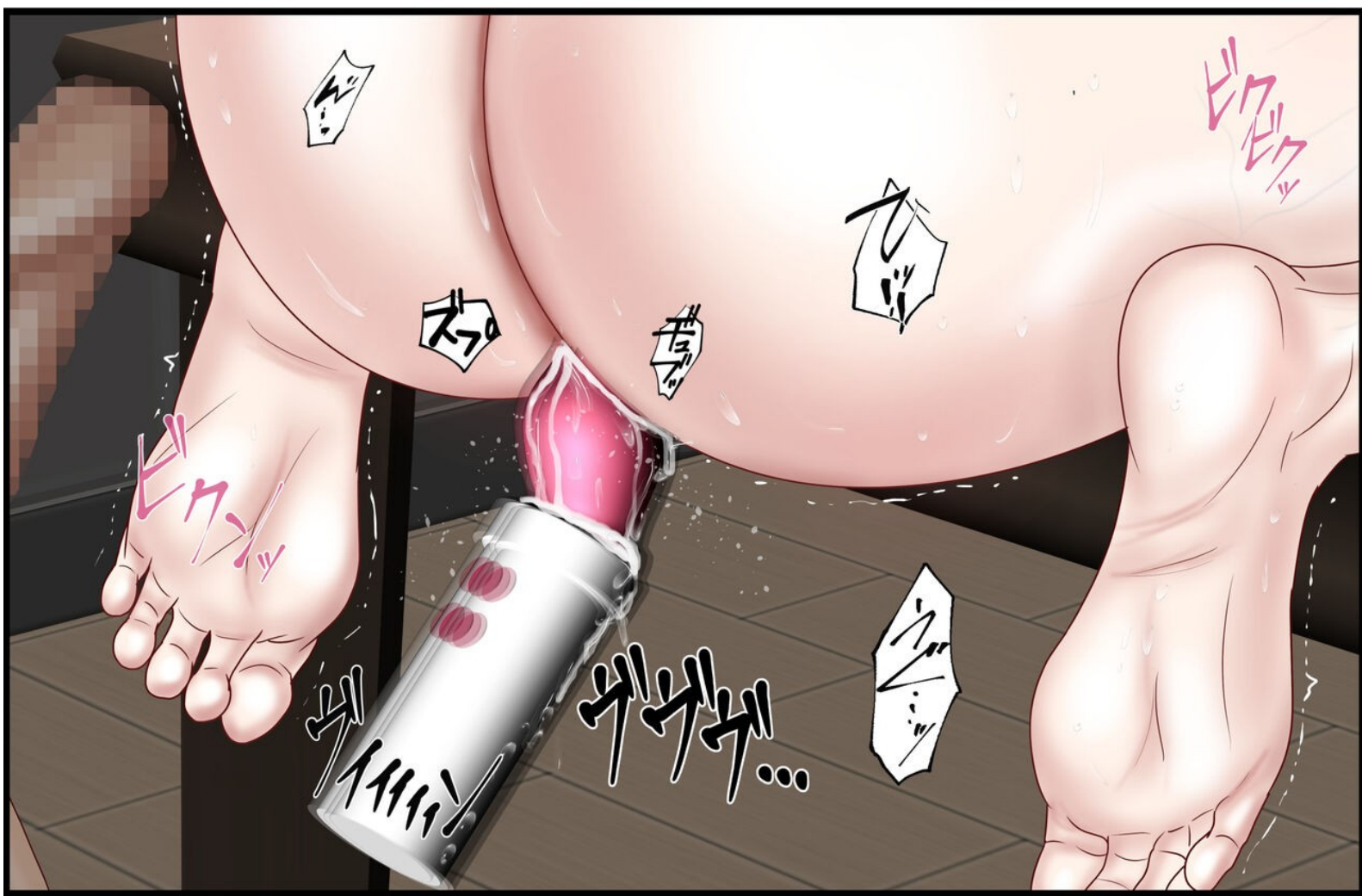
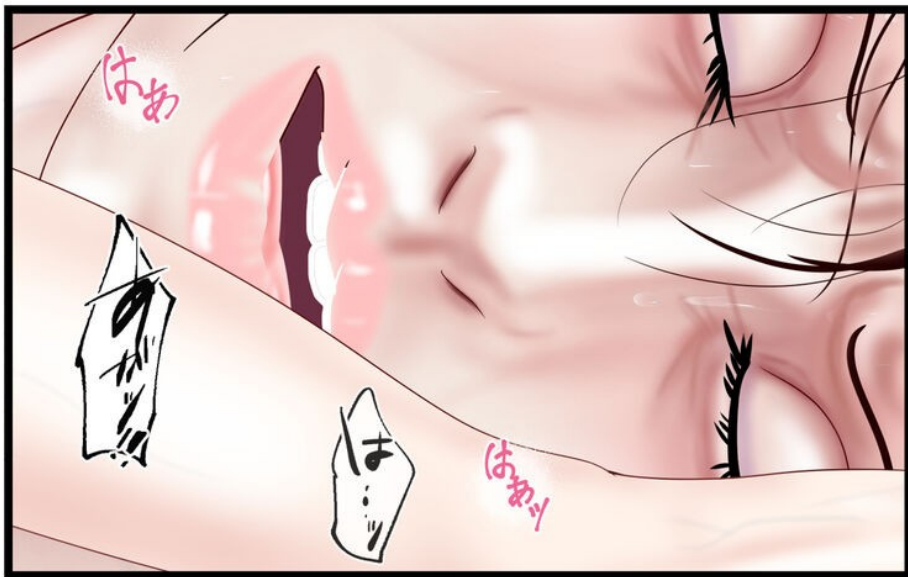
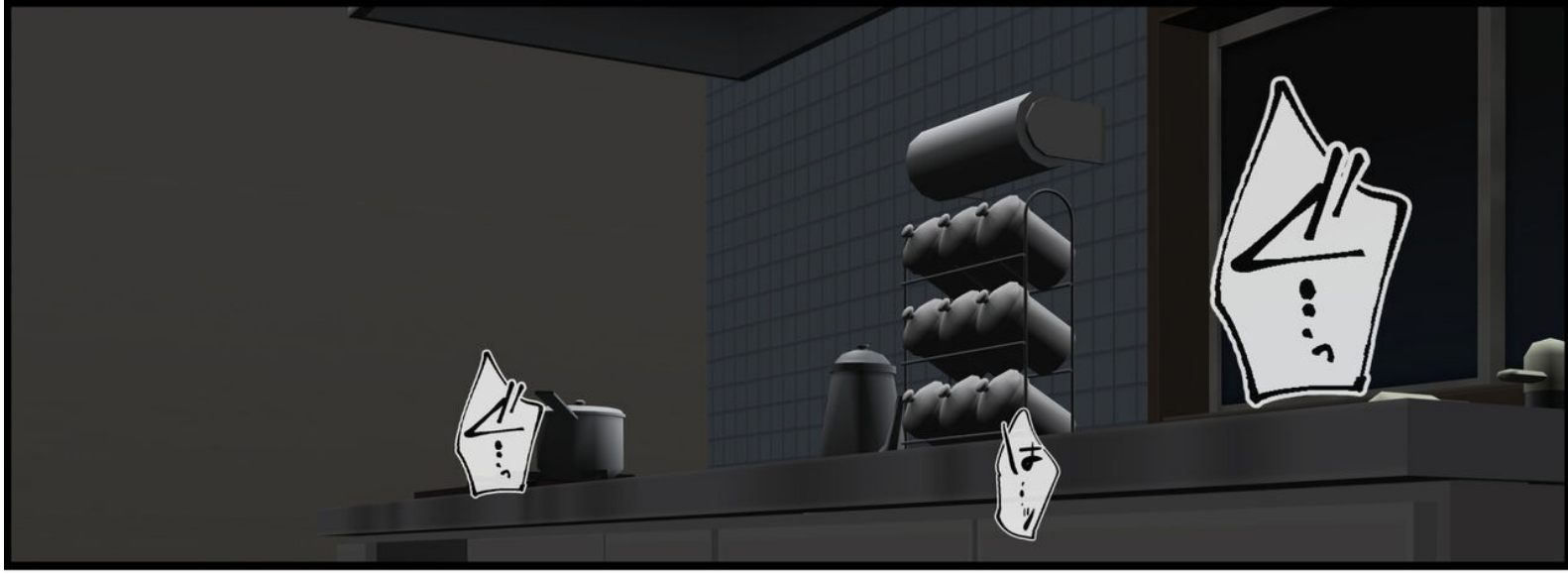
いや…別に

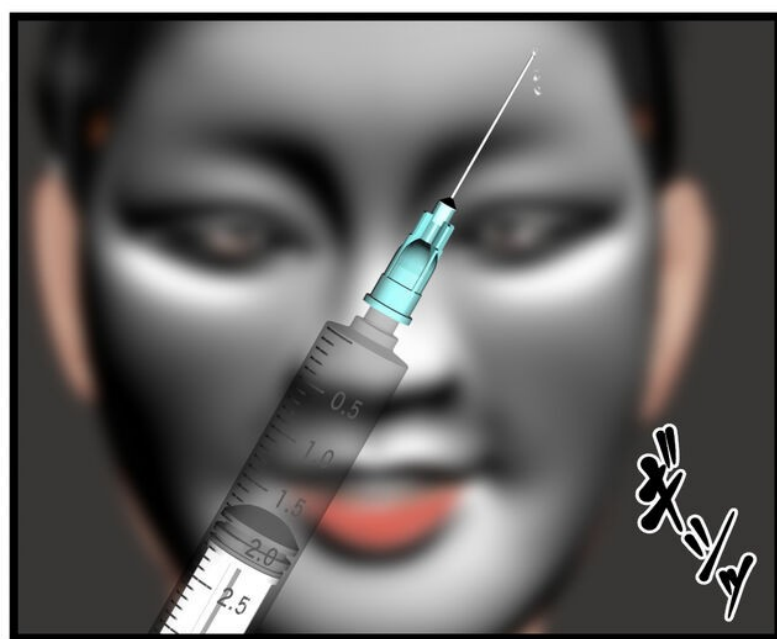
何?メッセに何か
来てんの?

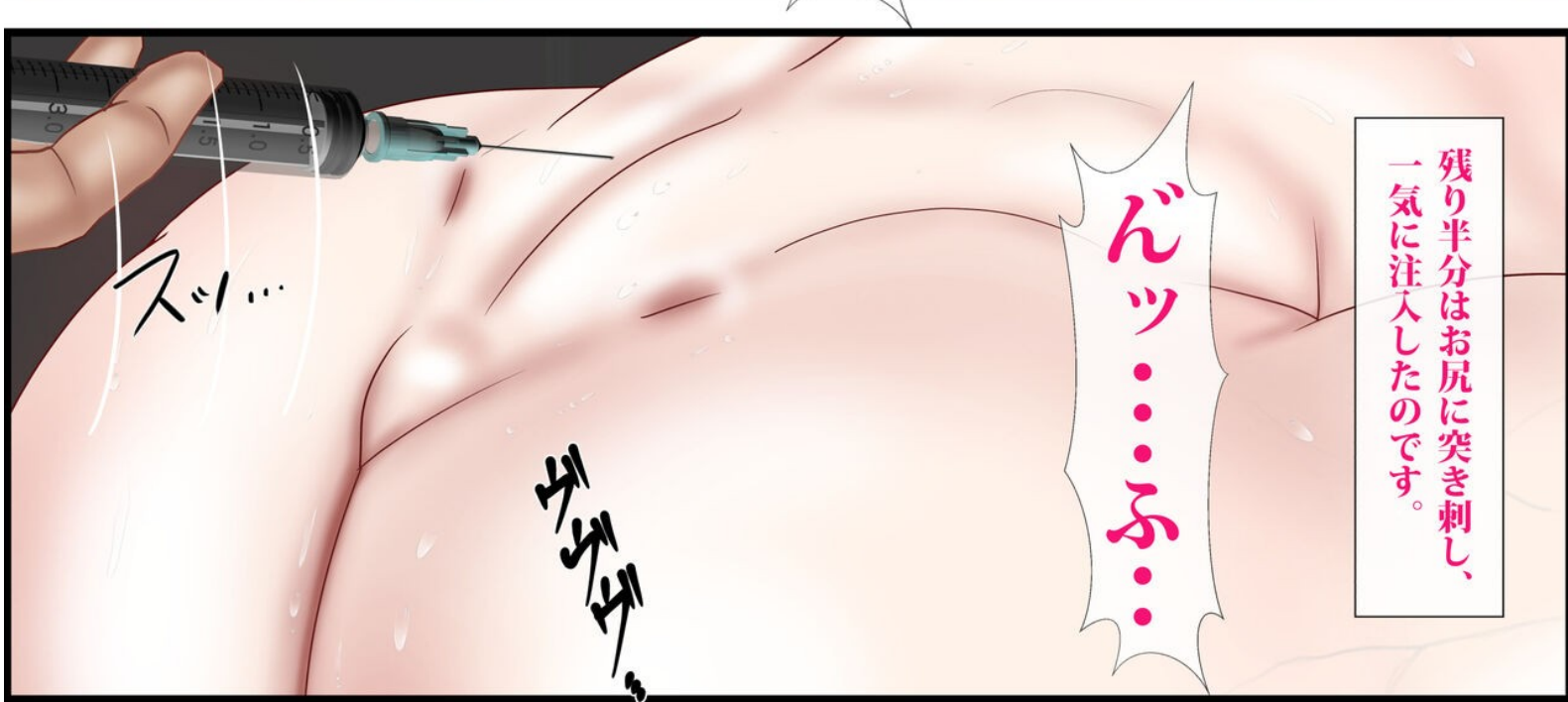
今日は早瀬のトコに来てる

前に言ったけど今日泊まるから

母さん今何してる?

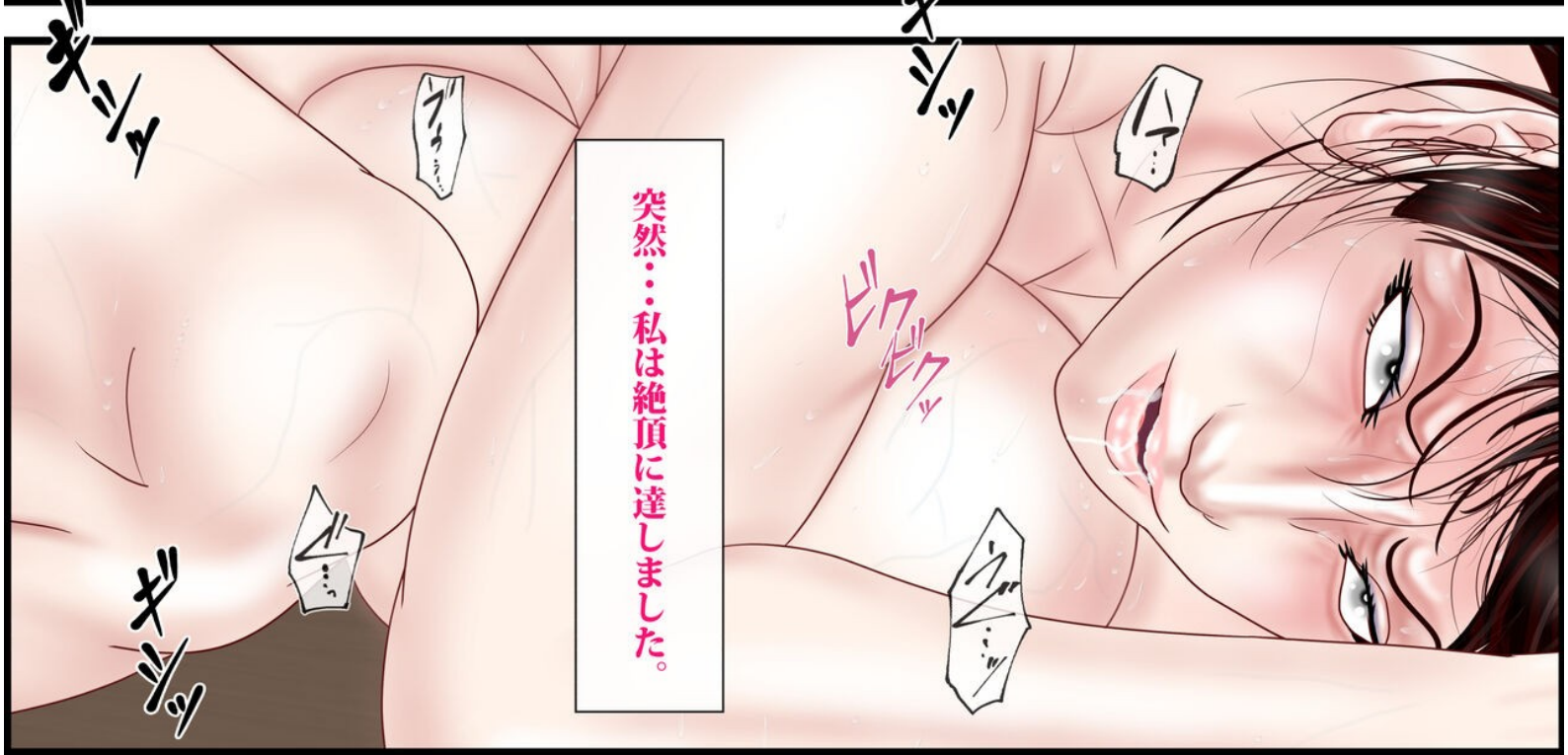
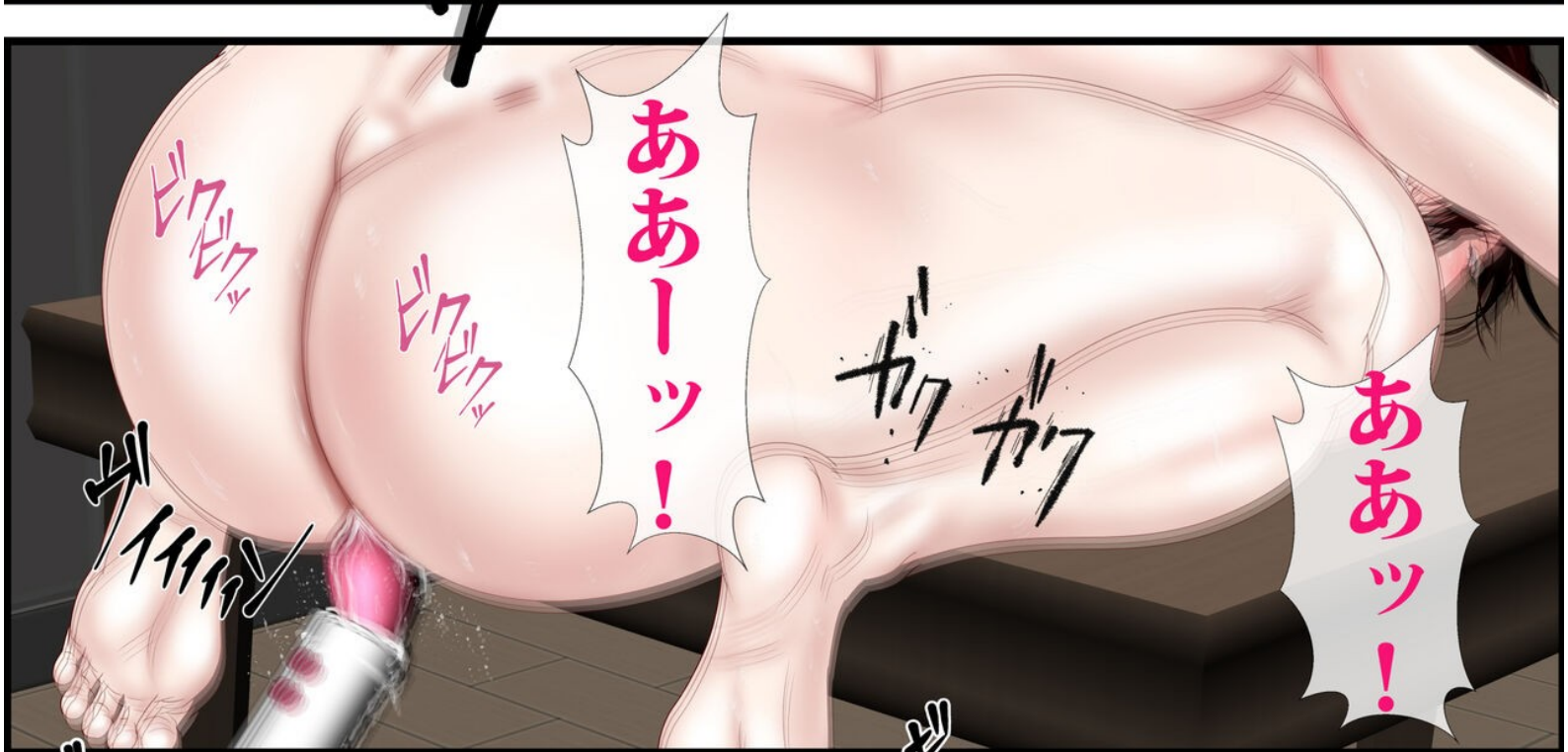


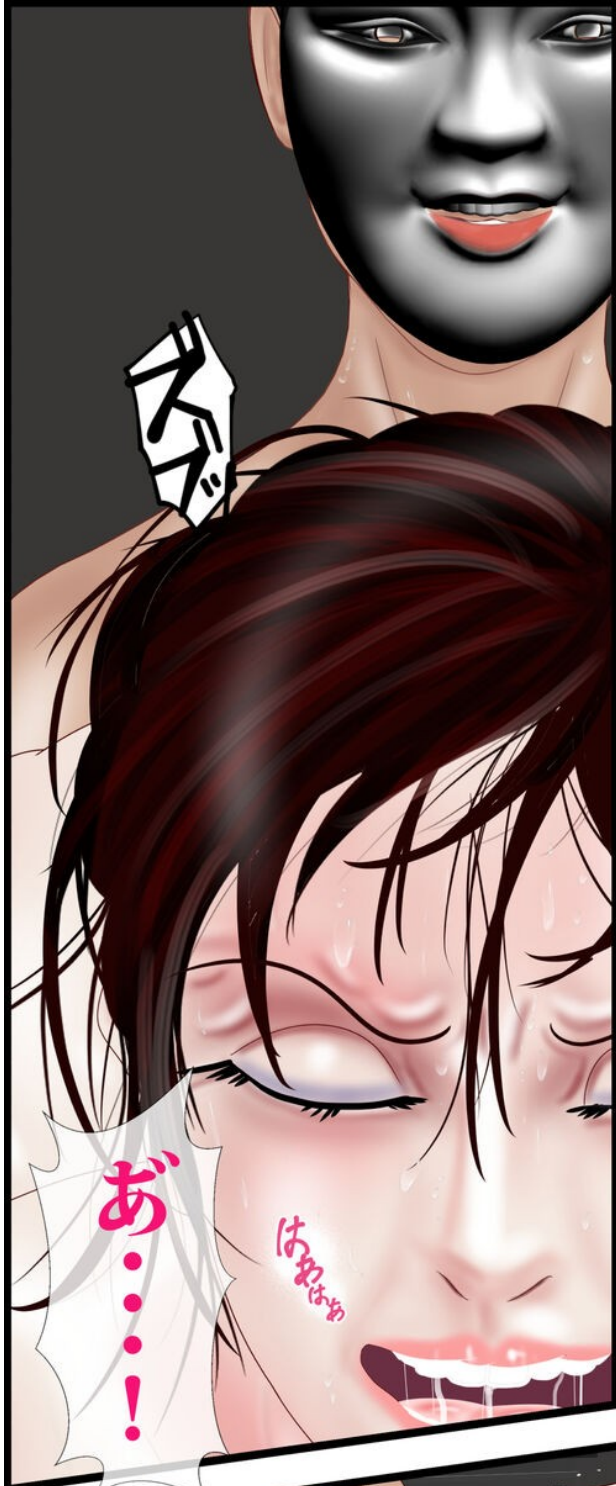






次の瞬間、身体中の血液が一気に沸騰した様な感覚に襲われ...





能面の男が私に射ったものが
何なのかは……分かりません。



分かってるのは、犯されながら
私は何度も絶頂に達した事です。

ぐう！

おうツ！

ああイクウ！

ああああ！

イダウウツツ…！！



そして朦朧とした意識の中...

イ、クツ...

あはああッ...

ズンズン

ズンズン

ズンズン

ズンズン

ズンズン



ズンズン



は...あ...

ズンズン

はあ

はあ

まったく、しつけいな
テメエは…薬か？

分かった、10パケ
くれてやる…ンだよ

い

お前が入れ込んでる
女、今日初めて見たわ

トボけんじゃねえ
河野美希って女だ

あ？…美希か？
今俺の下にいるわ

なまっちらい
生っ白いエロケツ
突き出してよお

白目剥いてやがる

い

いゝるるん…

いゝるるん…

い

いゝ

いゝ

美希はお前のスケだ？
頭沸いてんのか teme エ

こんな良い女、teme エにや
百年早えんだよ真島

河野美希は
俺の女にする

アパッッ

アパッッ

アパッッ

オッッ

オッッ

ハッッ

ハッッ

オッ

オッ



ああ？ンなもん
俺の知った事かよ

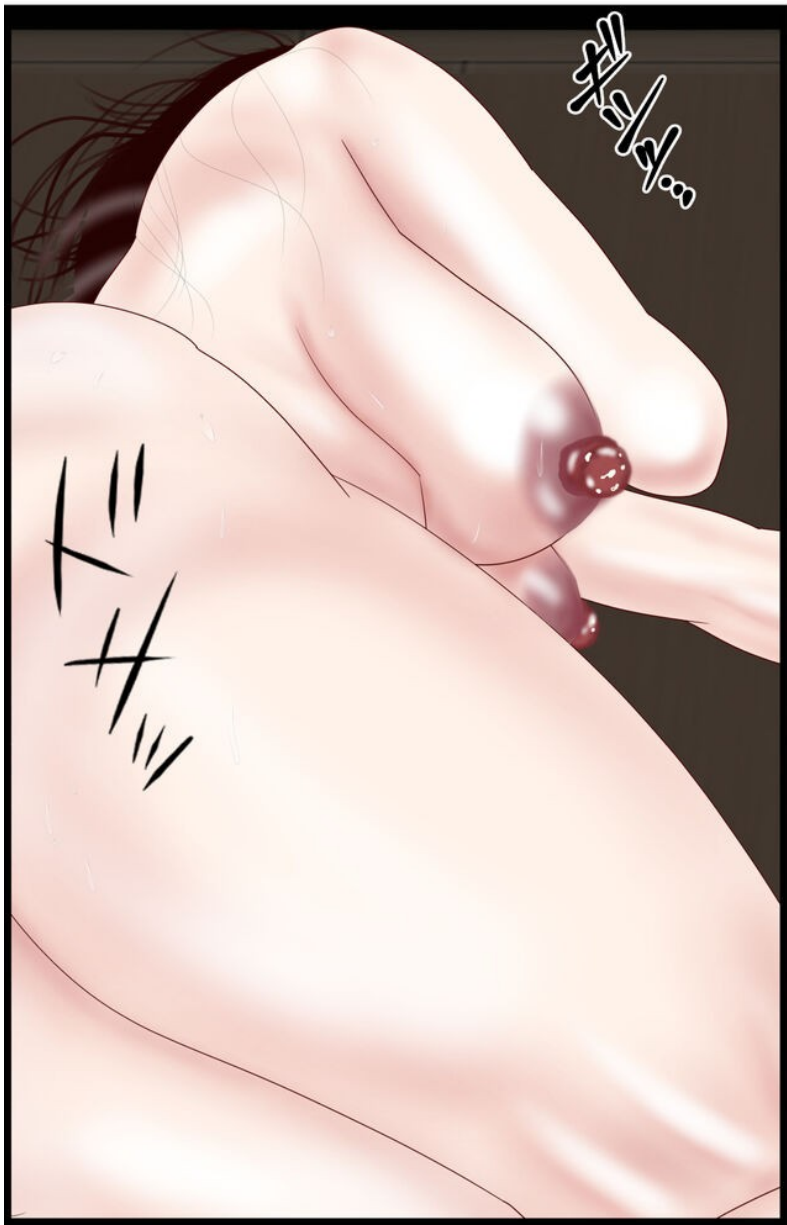
二度と手エ出さな
もう切るぞ

アパッパッ

グググ

アパッパッ

グググ



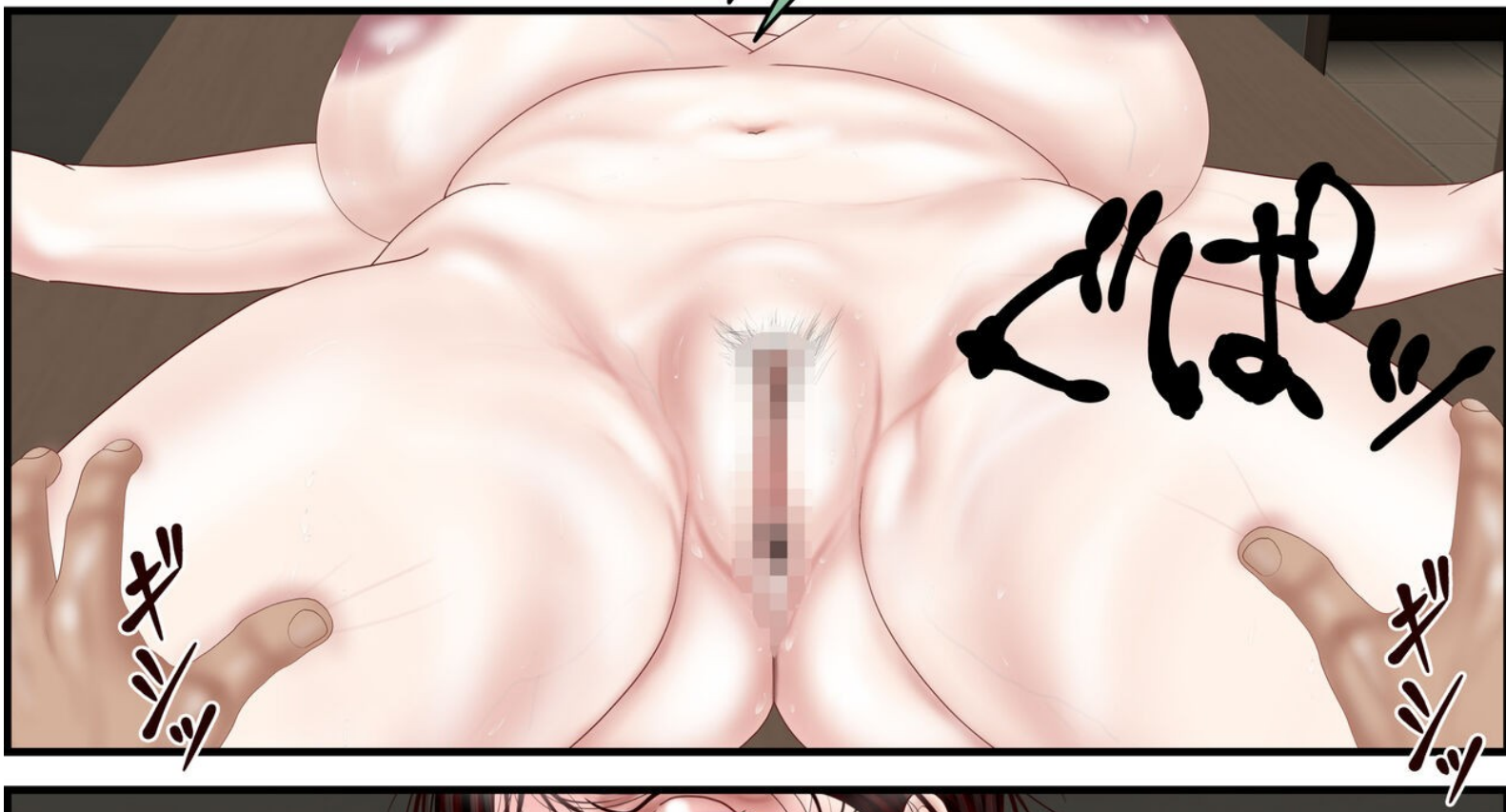
グググ

アパッパッ



グググ

グググ

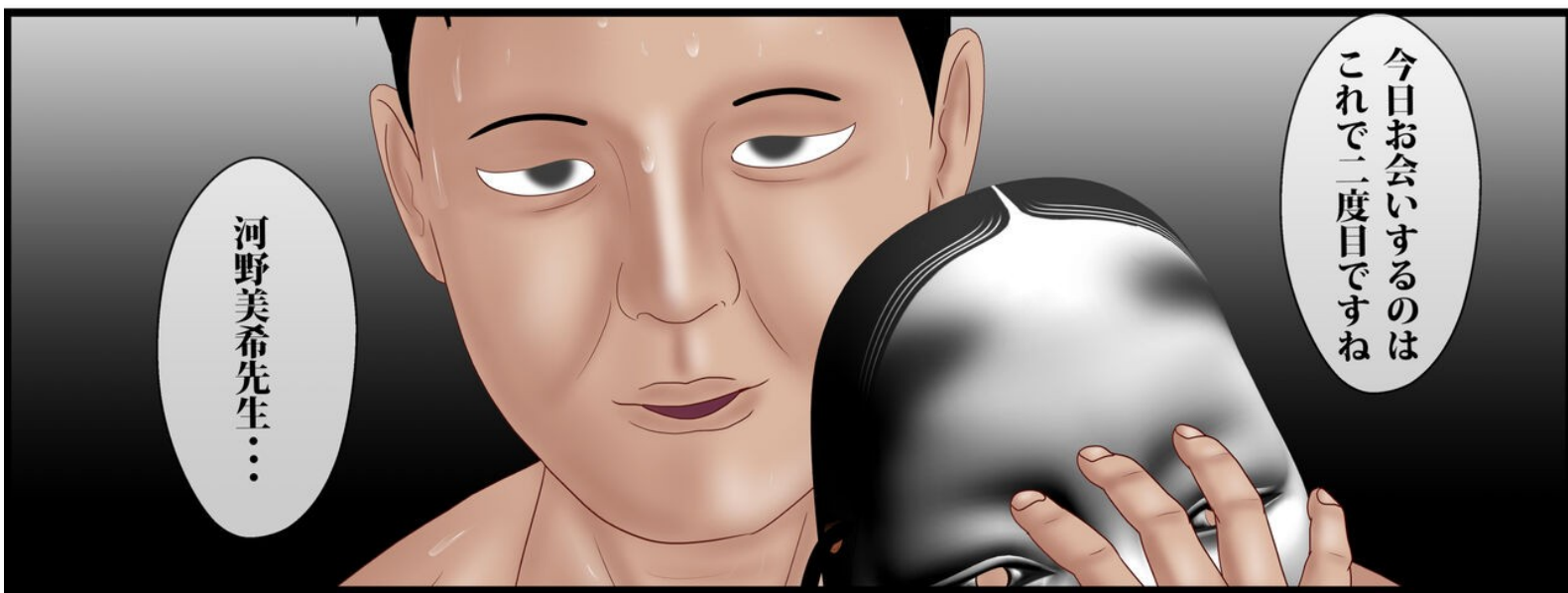


あー……いやあ
しかし暑いね……

ふんふん……



いや失礼…暑いので
仮面を取りました



河野美希先生…

今日お会いするのは
これで二度目ですね



次回
女教師は俺の母親 4
最終章に続く